Pioneer

コンパクトディスクレコーダー

PDR-D50

取扱説明書

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

安全上のご注意(別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

警告[異常時の処理]

プラグを抜け

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜け

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

もくじ

お使いになる前に

録音する

録音したあとにできること

消去する

演奏する

付録

パイオニアの製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、本書および別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は、「保証書」と一緒に必ず保管してください。

特長

本機はCD-Rディスクもしくは CD-RW ディスクに録音することができます。1度録音したCD-Rディスクは消去できませんが、CD-RW ディスクは録音した後の消去が可能です。CD-R ディスクと CD-RW ディスクはともに市販されているCD（コンパクトディスク）と同等の高音質と耐久性を備えています。

1　CD-R ディスク、CD-RW ディスク、市販 CD の演奏が可能

本機は市販のCDはもちろん、途中まで録音したCD-Rディスクや CD-RW ディスク、またファイナライズ(TOC記録)済み CD-R ディスクや CD-RW ディスクの演奏が可能です。
また、録音終了したCD-Rディスクはファイナライズ(TOC記録)処理 を行なうことで、市販CDと同じように一般のCDプレーヤーでも演奏ができるようになります。*1 CD-RW ディスクは、CD-RW ディスクが演奏できるように設計されたプレーヤーでのみ演奏ができます。

2　CD テキスト対応でディスクに名前をつけることができる

本機ではCD-RディスクやCD-RW ディスクに名前をつけることができます。ディスクネーム、アーティストネーム、トラックネームとつけられる名前の種類は 3 種類あります。

3　24bit レガート・リンク・コンバージョンを搭載

「レガート・リンク・コンバージョン」で再生周波数の広帯域化を実現し、ディスクに記録されている16ビットデータを24ビットに再量子化して、より滑らかで繊細な音楽表現を可能にしました。この結果、CDの枠を越えた、よりいっそうの原音に近い音楽再生を実現しています。

4　サンプリング周波数コンバーター搭載

衛星放送、DAT 、DCC 、DVD(48kHzのみ) などの 32kHz、48kHz サンプリング周波数のソースをデジタル録音する際、CD と同じ 44.1kHz 信号にデジタル変換して録音されます。
ただし、録音中のデジタル出力からはソース自体のサンプリング周波数がそのまま出力されます。
サンプリング周波数が44.1kHzの時は、サンプリングレートコンバーターがバイパスされるため、*2 HDCDやDTS CD を録音することができます。

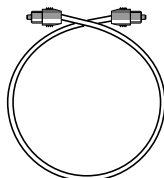
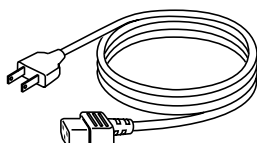
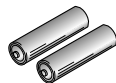
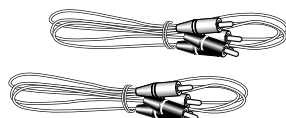
5　シンクロ録音モード搭載

CDやDAT、MD、DCCプレーヤーからのデジタル入力のシンクロ録音機能に加え、アナログ入力のシンクロ録音機能も装備しました。外部機器からの入力とシンクロして、自動的に録音の開始、終了、および曲番号(トラックナンバー)の更新をします。また、録音終了後、自動的にファイナライズを行うように設定することなどができるので、編集録音が簡単に行えます。

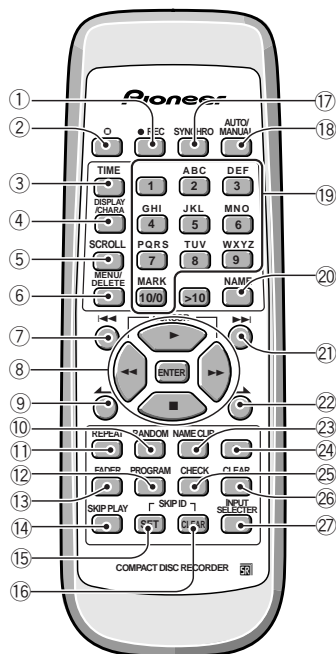
＊1　演奏するCDプレーヤーのピックアップレンズが汚れて再生能力が低下している場合等は、市販のCDが演奏できてもCD-Rディスクの演奏ができないことがあります。
＊2　HDCDやDTS CDは、デジタル録音レベルが0dB以外に設定されている場合は、正しく録音できません。

付属品の確認

● リモートコントロールユニット（リモコン）×1

● 光デジタルケーブル×1

● 電源コード×1

● 単3形乾電池×2（AA/R6P）

● オーディオコード×2

● 保証書
● ご相談窓口・修理窓口のご案内
● 取扱説明書（本書）
● CD-R操作入門編
● 安全上のご注意

各部のなまえ

リモコン

① **録音ボタン(●REC)**
録音するときや録音を一時停止するときに押します(**P.18,19**)。

② **録音ミュートボタン(○)**
録音中、または録音を一時停止しているときに押すと曲の終わりに 4 秒間の無音部分をつくります(**P.24**)。

③ **TIME ボタン**
録音中では録音時間を、演奏中では演奏時間を調べるときに押します(**P.41**)。

④ **DISPLAY/CHARA ボタン**
DISPLAY:ディスクに入力されているネーム表示を変えるときに押します(**P.41**)。
CHARA:文字の種類を変えたいときに押します(**P.27**)。

⑤ **SCROLL ボタン**
ディスクに入力されているネーム表示をスクロールさせたいときに押します(**P.41**)。

⑥ **メニューボタン(MENU/ DELETE)**
MENU:MENU モードにするときに押します。
DELETE:ディスクに名前を入力していて、文字を削除するときに押します(**P.28**)。

⑦ **⏮ ボタン**
曲の戻り方向への頭出しをするときに押します(**P.36**)。

⑧ **►/■/◄◄/►►/ エンターボタン(ENTER)**
► ボタンは演奏を開始するときに、■ ボタンは演奏を停止するときに押します(**P.36**)。◄◄/►► ボタンは曲の早戻し、または早送りをするときに押します(**P.36**)。エンターボタン(ENTER)は設定を決定するときに押します。

⑨ **← ボタン**
曲の戻り方向へのインデックスポイントの頭出しをするときに押します(**P.36**)。

⑩ **ランダムボタン(RANDOM)**
ランダム演奏するときに押します(**P.38**)。

⑪ **リピートボタン(REPEAT)**
リピート演奏するときに押します(**P.38**)。

⑫ **プログラムボタン(PROGRAM)**
プログラム演奏するときに押します(**P.37**)。

⑬ **フェーダーボタン(FADER)**
フェーダー演奏、またはフェーダー録音するときに押します(**P.24, 38**)。

⑭ **スキッププレイ切り換えボタン(SKIP PLAY)**
スキップ演奏を ON または OFF に切り換えるときに押します(**P.39**)。

⑮ **スキップ ID セットボタン(SKIP ID SET)**
スキップ情報を指定するときに押します(**P.31**)。

⑯ **スキップIDクリアーボタン(SKIP ID CLEAR)**
スキップ情報を解除するときに押します(**P.32**)。

⑰ **シンクロボタン(SYNCHRO)**
シンクロ録音の種類を選ぶとき押します(**P. 15-17**)。

⑱ **トラックナンバー・オート / マニュアル切り換えボタン(AUTO/MANUAL)**
トラックナンバーを自動更新にするか手動更新にするかを設定するときに押します(**P.23**)。

⑲ **数字 / 文字ボタン**

⑳ **ネームボタン(NAME)**
ディスクに名前を入力するときに押します(**P.26-28**)。

㉑ **►►I ボタン**
曲の送り方向への頭出しをするときに押します(**P.36**)。

㉒ **→ ボタン**
曲の送り方向へのインデックスポイントの頭出しをするときに押します(**P.36**)。

㉓ **ネームクリップボタン(NAME CLIP)**
よくつかう名前を記憶、コピーするときに押します(**P.29**)。

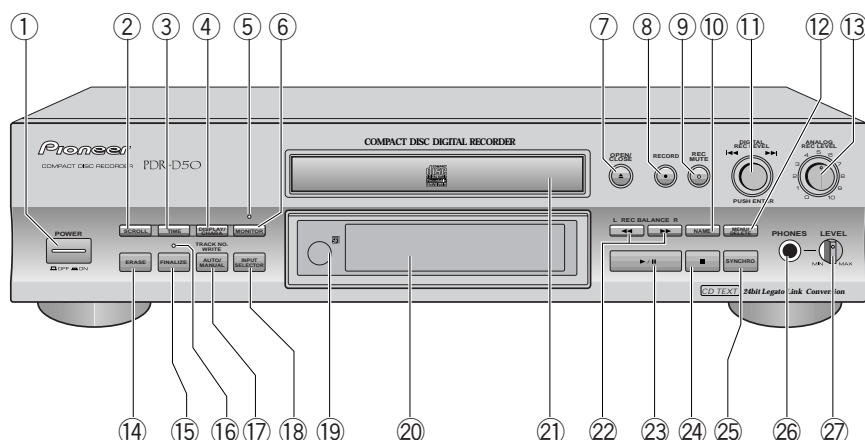
㉔ **一時停止ボタン(II)**
演奏または録音を一時停止するときに押します(**P.24,36**)。

㉕ **チェックボタン(CHECK)**
プログラムした内容を確認するときに押します(**P.37**)。

㉖ **クリアボタン(CLEAR)**
プログラムした最後の曲を解除するときに押します。

㉗ **入力切換ボタン(INPUT SELECTOR)**
音声信号の入力を切り換えるときに押します。

各部のなまえ

本体部

① **電源ボタン(POWER)**
電源をオン / オフするときに押します。

② **SCROLL ボタン**
ディスクに入力されているネーム表示をスクロールさせたいときに押します(**P.41**)。

③ **TIME ボタン**
録音中では録音時間を、演奏中では演奏時間を調べるときに押します(**P.41**)。

④ **DISPLAY/CHARA ボタン**
DISPLAY:ディスクに入力されているネーム表示を変えるときに押します(**P.41**)。
CHARA:文字の種類を変えたいときに押します(**P.27**)。

⑤ **モニターインジケーター**
モニターモードがONのときに点灯します(**P.25**)。

⑥ **モニターボタン(MONITOR)**
選択されている入力を確認するときに押します(**P.25**)。

⑦ **ディスクトレイ開閉ボタン(OPEN/CLESE ▲)**
ディスクトレイを開閉するときに押します(**P.14**)。

⑧ **録音ボタン(RECORD●)**
録音するときや録音を一時停止するときに押します(**P.18,19**)。

⑨ **録音ミュートボタン(REC MUTE ○)**
録音中、または録音を一時停止しているときに押すと曲の終わりに 4 秒間の無音部分をつくります(**P.24**)。

⑩ **ネームボタン(NAME)**
ディスクに名前を入力するときに押します(**P.26-28**)。

⑪ **デジタル録音レベルつまみ(DIGITAL REC LEVEL)/|◀◀ ▶▶| (ジョグダイアル)**
デジタル録音レベルを調整するときに使います(**P.20**)。CD 再生中は曲の頭出しをするときに回します(**P.36**)。MENU、NAME、ERASE モードで選択するジョグダイアルとしても使います。

⑫ **メニューボタン(MENU/ DELETE)**
MENU:MENU モードにするときに押します。
DELETE:ディスクに名前を入力していて、文字を削除するときに押します(**P.28**)。

⑬ **アナログ録音レベルつまみ(ANALOG REC LEVEL)**
アナログ録音レベルを調整するときに使います(**P.19**)。

⑭ **消去ボタン(ERASE)**
CD-RW に記録した内容を消去するときに押します(**P.33-35**)。

⑮ **ファイナライズボタン(FINARIZE)**
ファイナライズするときに押します(**P.30**)。

⑯ **ファイナライズインジケーター**
ファイナライズ中に点灯します(**P.30**)。

⑰ **トラックナンバー・オート / マニュアル切り換えボタン(AUTO/MANUAL)**
録音するディスクのトラックナンバーを自動更新にするかマニュアル更新にするかを設定するときに押します(**P.23**)。

⑱ **入力切換ボタン(INPUT SELECTOR)**
音声信号の入力を切り換えるときに押します。

⑲ **リモコン受光部(P.8)**

⑳ **表示部(P.7)**

㉑ **ディスクトレイ**

㉒ **◀◀ ▶▶ /録音バランス調整ボタン(REC BALANCE)**
曲の早戻し、または曲の早送りをするときに押します(**P.36**)。録音するディスクの左右バランスを調整するときに押します(**P.21**)。

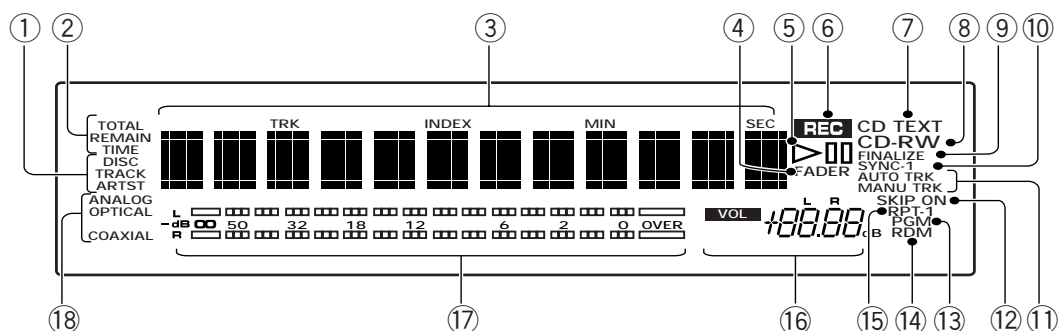
㉓ **演奏 / 一時停止ボタン(▶/❚❚)**
演奏を開始または一時停止するときや録音するときに押します(**P.36**)。

㉔ **停止ボタン(■)**
演奏、録音を停止するときに押します(**P.36**)。

㉕ **シンクロボタン(SYNCHRO)**
シンクロ録音の種類を選ぶとき押します(**P.15-17**)。

㉖ **ヘッドホン端子(PHONES)**
ヘッドホンを接続します(**P.11**)。

㉗ **レベルつまみ(LEVEL)**
ヘッドホンから聞こえる音量を調整します。

表示部

① **DISC/TRACK/ARTIST**
ディスクに入力されている名前を表示しているときに点灯します。"**DISC**" はディスクの名前を、"**TRACK**" は曲の名前を、"**ARTIST**" はアーティストの名前を表示中に点灯します(**P.41**)。

② **TOTAL/REMAIN/TIME**
ディスクの時間表示の種類によってそれぞれが点灯します。"**TOTAL**" は総演奏時間、"**REMAIN**" は演奏残り時間を表示中に点灯します(**P.41**)。

③ **文字 / 数字表示**
文字や数字でいろいろな情報を表示します。

④ **FADER**
フェード演奏、またはフェード録音しているとき点滅します(**P.24, 38**)。

⑤ **►II**
"**►**" は演奏中に、"**II**" は演奏または録音を一時停止しているときに点灯します。

⑥ **REC**
録音しているとき、または録音を一時停止しているときに点灯します。録音ミュート中は点滅します。

⑦ **CD TEXT**
CD TEXT の入力されたディスクを本機が読み取ると点灯します。

⑧ **CD-RW**
ディスクの種類を判別しているとき点滅します。判別が終わると下記のように点灯します。

- CD、またはファイナライズしてあるCD-Rを入れたとき →**"CD"** が点灯
- ファイナライズをする前のCD-Rを入れたとき →**"CD-R"** が点灯
- CD-RW を入れたとき →**"CD-RW"** が点灯

⑨ **FINALIZE**
ファイナライズしてある CD-RW を入れると点灯します(**P.30**)。

⑩ **SYNC-1**
全曲シンクロ録音のときは "**SYNC**" と点灯します。1 曲シンクロ録音のときは "**SYNC-1**" と点灯します(**P.15**)。

⑪ **AUTO/MANU TRK**
録音中、曲番号が自動で更新されるときは "**AUTO TRK**" と点灯し、曲番号を手動で更新するときは "**MANU TRK**" と点灯します(**P.22**)。

⑫ **SKIP ON**
スキップ演奏するときに点灯します(**P.39**)。

⑬ **PGM**
プログラムの設定、またはプログラム演奏しているときに点灯します(**P.37**)。

⑭ **RDM**
ランダム演奏をしているとき点灯します(**P.38**)。

⑮ **RPT -1**
全曲リピート演奏のときは"**RPT**"と点灯します。1 曲リピート演奏のときは "**RPT-1**" と点灯します(**P.38**)。

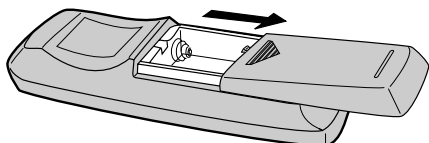
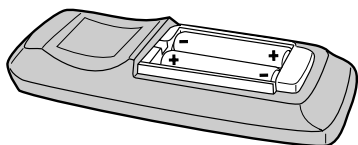
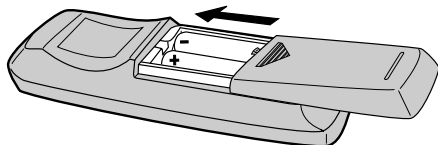
⑯ **VOL/L R**
デジタル録音レベルを表示します(**P.20**)。ディスプレイに CD テキストを表示しているときは再生中の曲番号を表示します。録音バランスを調整していないディスクの場合は**L**、**R**両方が点灯し、調整してある場合は大きいほうのみが点灯します(**P.21**)。

⑰ **レベルメーター表示**
演奏、または録音しているときに音声の入力レベルを表示します。

⑱ **ANALOG/OPTICAL/COAXIAL**
音声信号の入力を表示します。

リモコンの予備知識

リモコンに電池を入れる

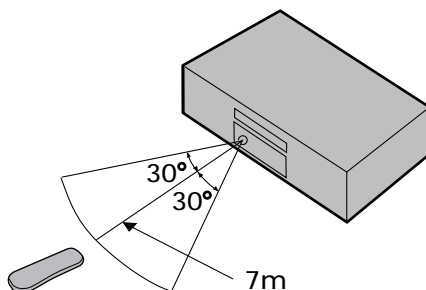
1. **裏ブタを押しながら矢印の方向に引き上げる**

2. **単3形乾電池（AA/R6P）の⊕と⊖の向きを正しく入れる**

3. **矢印の方向に押し込んで裏ブタを閉める**

注意

乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂などの危険があります。次の点についてご注意ください。（電池の注意事項もよく見てください。）

◆ 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
◆ 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
◆ 乾電池には同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
◆ 長い間（1か月以上）使用しないときは電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。
◆ 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

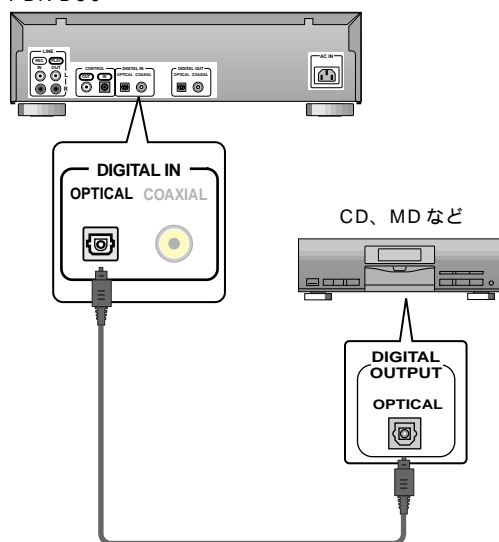
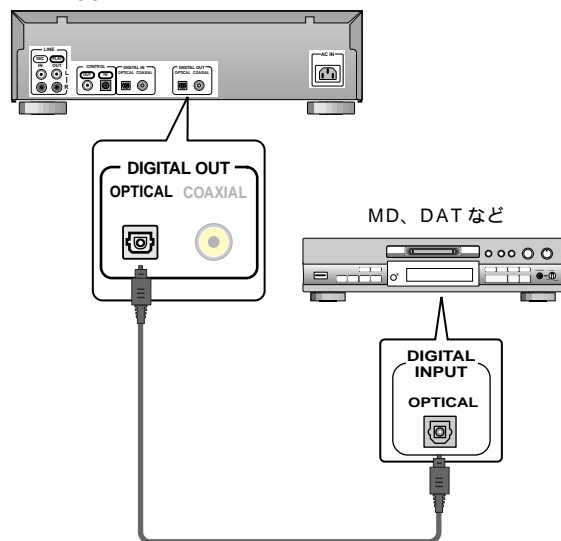
リモコン操作範囲

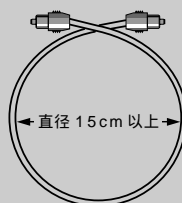
リモコンの操作可能範囲は、リモコン受光部との距離が約7m、角度が左右30度までです。

- 本体にあるリモコン受光部に、リモコン前部を向けて操作してください。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら、電池を交換してください。
- 直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えるか、蛍光灯から離してください。
- 本機との間に障害物があったり、リモコン受光部との角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
- 赤外線を放射する機器の近くや、赤外線を利用した他のリモコンを使用すると、本機が誤動作することがあります。また、赤外線によってコントロールされる他の機器を使用中、本機のリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。

接続のしかた

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

付属の光デジタルケーブルで接続する

● 光デジタル出力端子を持つ外部機器(ＣＤ、ＭＤ、ＢＳチューナー、CS チューナーなど)と接続します。

● 光デジタル入力端子を持つ外部機器(MD、DAT など)と接続します。

注意

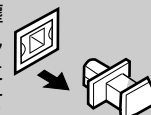
◆ 光デジタルケーブルは急な角度に折り曲げないでください。ケーブルを破損するおそれがあります。ラックなどに入れるときは、特に注意してください。輪にして保管するときは、直径が 15cm 以上になるようにしてください。

◆ 接続するときは、端子の形状に合わせて奥まで確実に差し込み、不完全な接続にならないよう注意してください。

◆ 光デジタルケーブルは、長さ3m以下のものを使用してください。

◆ 光デジタルケーブルのプラグにホコリやキズがつかないよう注意してください。ホコリが付着したときは、柔らかい布などではらってから接続してください。

◆ 光デジタルケーブルを接続しないときは、本機の光端子に防塵キャップを差し込みホコリが付着しないようにしてください。

◆ 光端子を使用するときは、防塵キャップを引っぱって取りはずします。光端子を使用しない場合には、必ず防塵キャップを取付けてください。

◆ 防塵キャップは大切に保管してください。

接続のしかた

付属のオーディオコードで接続する

AV アンプやステレオアンプなどと接続します。

市販の同軸デジタルケーブルで接続する

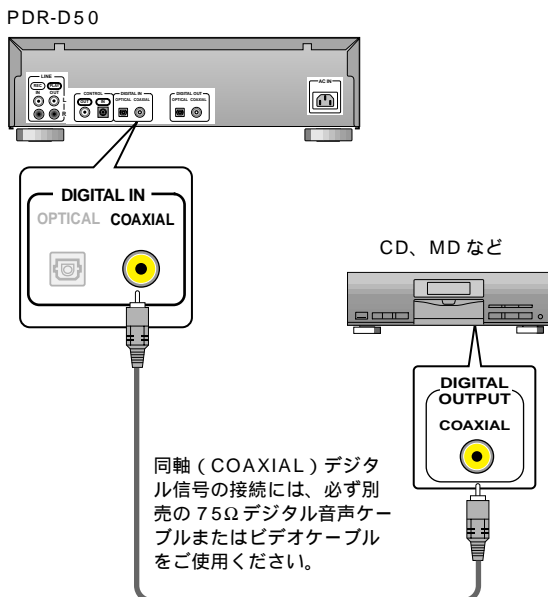
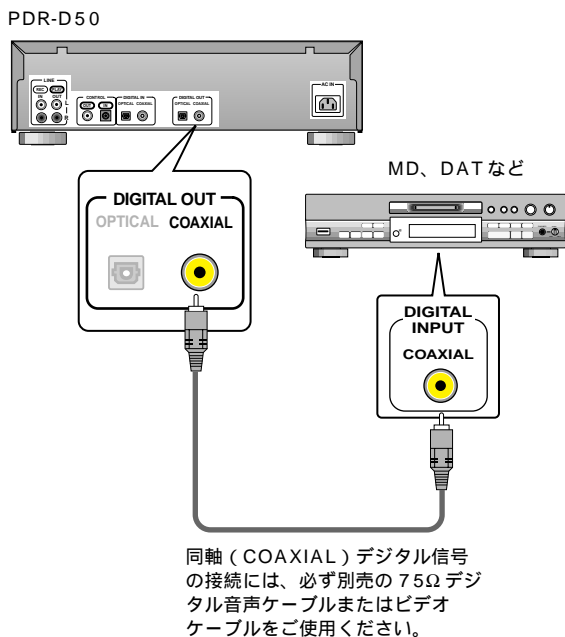
● 同軸デジタル出力端子を持つ外部機器(CD、MD、BS チューナー、CS チューナーなど)と接続します。

同軸(COAXIAL)デジタル信号の接続には、必ず別売の 75Ω デジタル音声ケーブルまたはビデオケーブルをご使用ください。

● 同軸デジタル入力端子を持つ外部機器(MD、DAT など)と接続します。

同軸(COAXIAL)デジタル信号の接続には、必ず別売の 75Ω デジタル音声ケーブルまたはビデオケーブルをご使用ください。

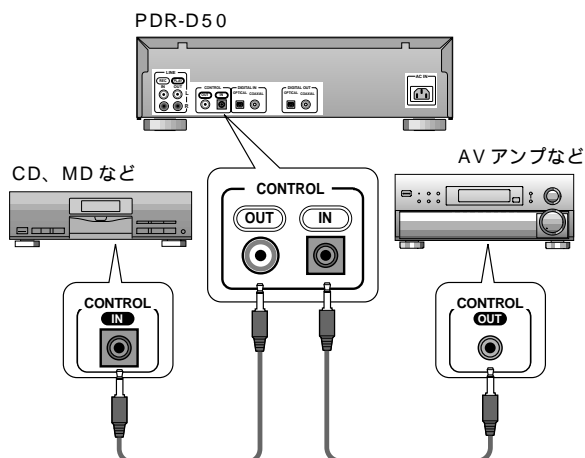
メモ

- 音声コードを接続するときは、白いプラグをL側、赤いプラグをR側につなぎます。必ず奥までしっかりと差し込んでください。

メモ

- 市販の同軸デジタルケーブルと付属の光デジタルケーブルは両方接続する必要はありません。どちらかの接続のみ行ってください。

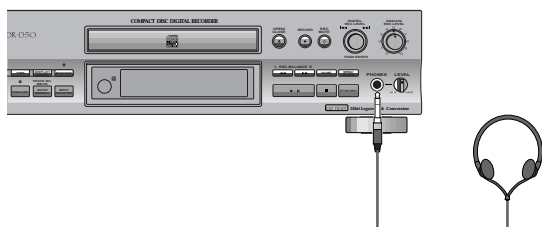
接続のしかた

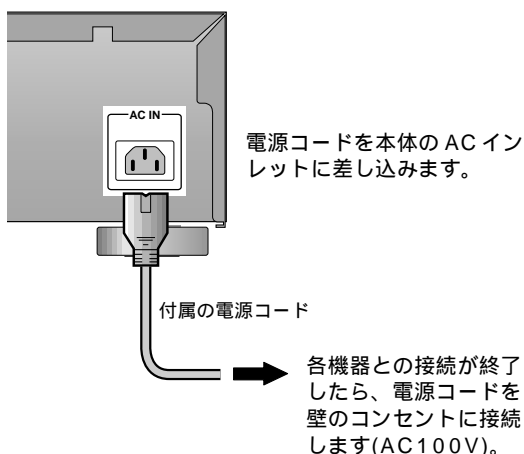
パイオニア SR マークがついている機器と接続する

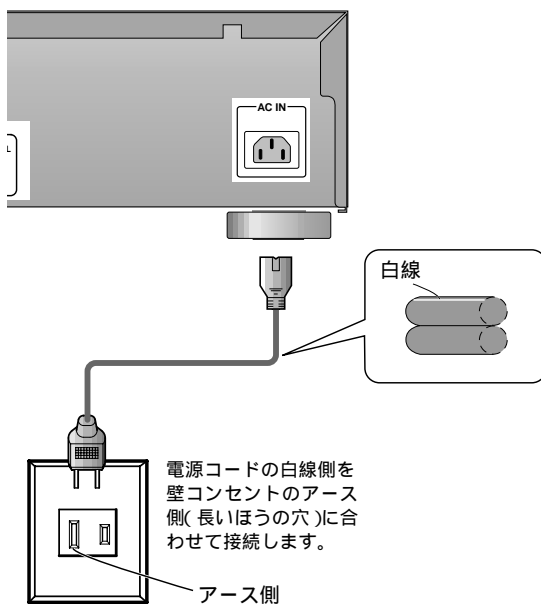
SR マークの付いたパイオニア製 AV アンプなどと接続して、AVアンプなどのリモコンで本機を操作することができます(詳しい操作方法についてはAV アンプなどの取扱説明書をご覧ください)。市販のミニプラグ付きケーブル(抵抗なし、∅ 3.5)を使って、本機のコントロール入力端子と AV アンプなどのコントロール出力端子を接続します。

注意

- **システムコントロールする場合は、市販のミニプラグ付きケーブル以外に必ずアナログ音声出力、および音声入力の接続をしてください。**
- SR マーク付きのAVアンプなどと接続したときは、接続した機器(AVアンプなど)にリモコンを向けて操作してください。本機にリモコンを向けても操作することはできません。
- SR マークのない機器やパイオニア以外の製品とは、システムコントロール接続はできません。

ヘッドホンを使うとき

市販のヘッドホンを、ヘッドホン端子に接続します。インピーダンス 16 Ω～50 Ω（推奨 32 Ω）のヘッドホンをお使いください。

電源コードを接続する

付属の電源コードを本機のAC IN 端子に差し込み、もう一方を壁の電源コンセントに差し込みます。

電源極性について

よりよい音質でご使用いただくために、電源コードのプラグの向きを下記のように接続することをおすすめします。

注意

- 付属以外の電源コードを使用される場合は、定格を確認の上、ご自身の責任において使用していただくことになります。

お使いになる前に

使用できるディスクについて

■ CDディスク

本機には右記のマークがついているCD（光学式デジタルオーディオディスク）をお使いください。

■ CD-RディスクとCD-RW ディスク

本機で録音する場合、下記マークの付いたディスクを必ずお使いください。

＊1 または

＊2

FOR CONSUMER
FOR CONSUMER USE
FOR MUSIC USE ONLY

（上記いずれかの表示のあるディスク）

上記のマークがないディスクに録音することはできません。
本機では、下記のメーカーのディスクについて動作を確認済みです。（2000 年 5 月現在）

- パイオニア株式会社 / パイオニアビデオ株式会社
- 太陽誘電株式会社
- TDK 株式会社
- 日立マクセル株式会社
- 富士写真フィルム株式会社
- 三井化学株式会社
- 三菱化学株式会社
- ソニー株式会社
- RITEK Corporation

下記のメーカーについてはメーカーサンプルにて動作を確認済みですが、自社ブランド名でのオーディオ用ディスクは未発売です。（2000 年 5 月現在）

- 株式会社リコー
- 日本コダック株式会社

上記のメーカーのディスクが、別のブランド名で発売されている場合もあります。

CD-Rディスク（コンパクトディスクーレコーダブル）を入れるとCD-R インジケーターが点灯し、CD-RW ディスク（コンパクトディスクーリライタブル）を入れるとCD-RW インジケーターが点灯します。
途中まで録音したディスクに続けて録音すると、録音済トラックの後から録音を開始します。CD-Rディスクは1度のみ録音が可能で、録音したデータの消去はできません。いっぽうCD-RW ディスクは録音、データの消去、新たな録音が何度でも可能です。
下記の場合には、録音をすることができませんのでご注意ください。

- CDインジケーターが点灯したとき(CD かファイナライズ済 CD-R を入れたとき)。
- CD-RW とファイナライズインジケーターが点灯したとき（ファイナライズ済 CD-RW を入れたとき)。
- ディスクの録音できる残り時間がなく、"REC FULL" と表示されたとき。
- すでに99トラック(曲)録音済みで、"REC FULL"と表示されたとき。

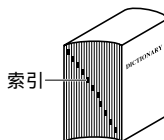
CD-Rディスク＊１、CD-RW ディスク＊２表示のないディスクや「FOR CONSUMER」「FOR CONSUMER USE」または「FOR MUSIC USE ONLY」と明記されていないディスクを入れたとき、"Pro DISC" と表示され、録音はできません(他のCDレコーダーで使用できたCD-RディスクやCD-RW でも録音することはできません)。
CD-R ディスクやCD-RW ディスクを入れると、最適な録音をするために各種の調整を自動的に行ないます。
本機の電源をオンした後すぐに録音を始めようとすると、自動調整に多少時間がかかることがあります。録音一時停止状態になるまでお待ちください。
電源を切る前には必ずディスクをトレイから出してください。

著作権使用料は、著作権法で制定されています。左記マークのついているCD-R ディスク＊１やCD-RW ディスク＊２、また「FOR CONSUMER」「FOR CONSUMER USE」「FOR MUSIC USE ONLY」とあるディスクはすでに使用料が支払われているため、個人で楽しむ範囲内での音楽録音が許されています。ただし、個人で楽しむ以外の目的でディスクを使用する場合には、権利者から許可を得る必要があります。

■ CD TEXT

CD TEXTとは、CDのディスクタイトル、トラックタイトル、アーティストネームなどの文字情報(アルファベット、記号、数字) のことです。市販のCDでこれらの文字情報が記録されているものには下記のマークが付いています。

または
曲番号(トラックナンバー)の記録について

一般のCDには、あらかじめ曲番号(トラックナンバー)が記録されているため、任意の曲を選んで演奏させることができます。CDレコーダーで録音したディスクを一般のCDと同じように演奏させるには、曲番号(トラックナンバー)を記録する必要があります。
曲番号(トラックナンバー)がすでに記録されている機器(CD、MD、DAT 、DCC)からのデジタルシンクロ録音のときは、自動的に曲番号(トラックナンバー)を検出して記録します。アナログシンクロ録音のときは、自動的に２秒以上の無音部分を検出し、その後音声が入力されると曲番号(トラックナンバー)を記録します。
マニュアルで録音するときは、曲間に手動で曲番号(トラックナンバー)を記録します（録音がすべて終了してから曲番号(トラックナンバー)の書き込むことはできません）。また、トラックナンバーは 99 トラックまで記録することができます。

CDにも辞書の索引と同じような曲番号(トラックナンバー)が記録されている。

使用できるディスクについて

ファイナライズ処理について

■ ファイナライズ処理とは．．．．

ファイナライズとは、録音を終了したCD-Rディスクを一般の CD プレーヤーで演奏できるようにしたり、CD-RWディスクをCD-RW対応のプレーヤーで演奏できるようにするための最終処理です。

■ ファイナライズ処理をすると．．．．

追加録音ができなくなります。また、スキップ情報の指定・解除もできなくなります。(**P.31-32**)
ただし CD-RW ディスクについては、消去を行うと、録音やスキップ情報の指定・解除などができるようになります。

■ CD-RディスクとCD-RWディスクの違い

	CD-R	CD-RW
演奏	録音終了後にファイナライズ処理を行うと、一般のCDプレーヤーで演奏することができます。	一般のCDプレーヤーでは演奏することができません。ただし録音終了後にファイナライズ処理を行うと、CD-RW対応プレーヤーでのみ演奏することができます。
消去	一度録音を行うと、ファイナライズ処理を行う前でも、消去することはできません。	録音した曲を消去したり、ファイナライズ処理したディスクを、ファイナライズ前の状態に戻したりすることが何回でもできます。

"NEW DISC"
と表示されます

未録音ディスク

"NEW DISC"
と表示されます

録 音

"CD-R"と点灯します

録音中のディスク

"CD-RW"と点灯します

○ 追加録音できます
× 消去できません
× 一般のCDプレーヤーで演奏ができません

○ 追加録音できます
○ 最終曲消去、全曲消去、マルチトラック消去、ディスク消去ができます
× 一般のCDプレーヤーで演奏ができません

ファイナライズ

"CD"と点灯します

ファイナライズ済みディスク

"CD-RW"と"FINALIZE"が点灯します

× 追加録音できません
× 消去できません
○ 一般のCDプレーヤーでの演奏ができます

× 追加録音できません*
○ 全曲消去、TOC消去、ディスク消去ができます
× 一般のCDプレーヤーで演奏ができません**

* TOC消去やディスク消去を行うと、録音ができるようになります。
** CD-RW 対応プレーヤーでのみ演奏させることができます。

ディスクの持ちかた

信号面（文字が印刷されていない面）にふれないでください。

保管

- ♦ 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たるところ、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ♦ ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクのお手入れ

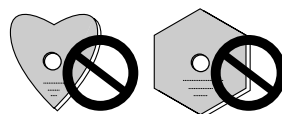
- ♦ 汚れにより音が飛んだり、音質が低下することがあります。
- ♦ 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。

円周に沿って拭かない

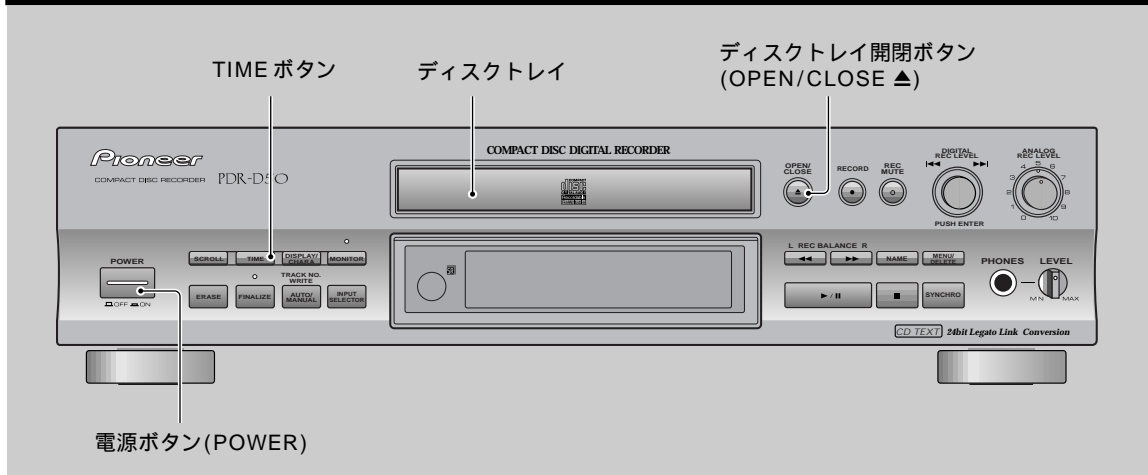
柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭く

- ♦ ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。

注 意

特殊な形状の CD は使用しないでください。
ハートの形など、円形以外の形状の CD は使用しないでください。使用すると故障の原因になります。

損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。

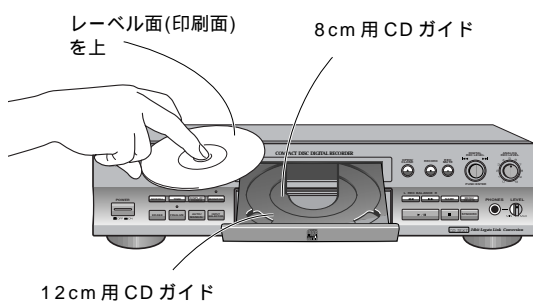
レーベル面に紙やシールなどを貼付けたり、キズなどをつけないようにしてください。
のりなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。
特に、レンタルディスクにおいてはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しを確認してから、ご使用ください。

ディスクの入れかた・取り出しかた

CD を入れる前に、必ず**電源ボタン(POWER)**を押して、本機の電源をオンにしてください。

1. ディスクトレイ開閉ボタン(OPEN/CLOSE ▲)を押す

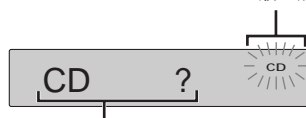
- ディスクトレイが出てきます。

2. CD を入れる

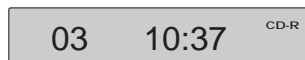
- **ディスクは下図のガイドに合わせて、正しく入れてください。**

3. ディスクトレイ開閉ボタン(OPEN/CLOSE ▲)を押す

- ディスクトレイが閉まります。
- ディスク情報の読み取りを開始し、表示部が次のように切り換わります

●ディスクの判別をしているとき

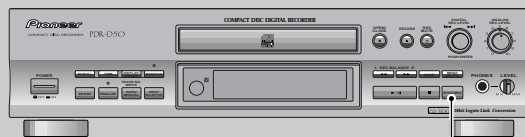
"CD"→"CD-R"→"CD-RW" の順で点灯

"CD ?"→"CD-R ?"→"CD-RW ?" の順で点灯

●ディスク情報の読み取りをしているとき

●ディスクの判別、およびディスク情報の読み取りが終わったとき

CD テキストが入力されたディスクの場合はディスクタイトルが表示されます。ディスクの時間を確認したいときは TIME ボタンを押してください。

注意

◆ CD を 2 枚以上重ねて入れたり、CD 以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
◆ 8cm 用 CD アダプターは使用しないでください。
◆ 本体とディスクトレイの隙間からディスクを中に入れたり手を入れたりしないでください。

シンクロ録音について

録音する

シンクロ録音のしかた

外部接続しているデジタル機器(CD、MD、DAT、DCC)、またはアナログ機器とシンクロして、簡単に録音することができます(デジタル録音禁止信号が検出された曲はデジタル録音できません([SCMS(**P.25**)])。
本機が停止しているときに**シンクロボタン(SYNCHRO)**を押すと下記のように切り換わります。

● **1曲シンクロ録音** → 外部接続している機器の演奏を始めると、1曲だけを自動的に録音します(**P.16**)。

SYNC–1　CD-R SYNC -1

● **全曲シンクロ録音** → 外部接続している機器の演奏を始めると、全曲を自動的に録音します(**P.16**)。

SYNC–ALL　CD-R SYNC

● **自動ファイナライズ シンクロ録音** → 全曲シンクロ録音した後、自動的にファイナライズをします(**P.17**)。

SYNC–FINAL　CD-R FINALIZE SYNC

● **録音一時停止状態** → シンクロ録音モードではなく、マニュアル録音の一時停止状態になります(**P.18**)。

01　01　00:00　CD-R

それぞれのシンクロ録音モードで上記のディスプレイ表示をした後に表示の内容が、入力の種類の表示(INPUT表示)➡入力カテゴリー表示➡入力サンプリング周波数表示を数秒ずつ表示し、録音一時停止状態になります。

注意

外部機器とシンクロ録音するときの注意(デジタル / アナログ共通)

◆ 5秒以上音が検出されないとすべての録音を終了したと判断し、録音を一時停止します。もう一度、音が検出されると録音を再開します。
◆ 録音中の音声を聴きながら録音することができます。音声は後面部の音声出力端子(LINE OUT、OPTICAL OUT、COAXIAL OUT)、または前面部のヘッドホン端子(PHONES)から出力されます。
◆ 録音中、"**PMA REC**" と表示されているときは電源を切らないでください。ディスクが使用できなくなる場合があります。停電や誤って電源コードを抜いてしまってときは、録音した最後の部分は記録(録音)されません。

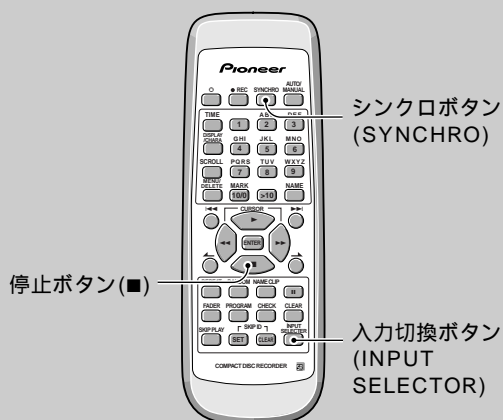
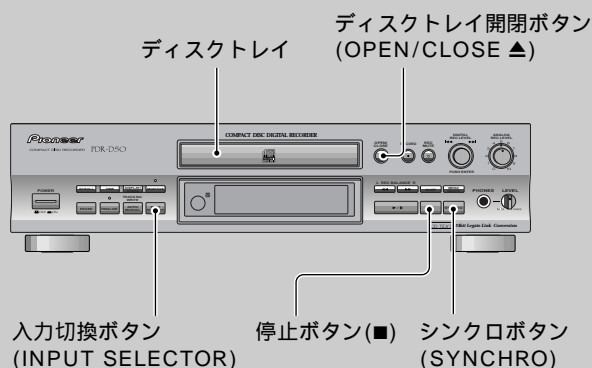
デジタルシンクロ録音するときの注意

◆ DAT 、DCC テープのスタート ID は、必ず音声よりも前に入力してください。スタート ID が入力されていない場合は録音がはじまりません。
◆ DAT や DCC などをプログラム演奏してシンクロ録音しないでください。曲番号が正しく更新されないことがあります。プログラムをして録音したいときは、1 曲ごとに録音をしてください。
◆ 詳しい注意については **P.45** 注意 をご覧ください。

アナログシンクロ録音するときの注意

◆ 曲番号の更新は、自動的に 2 秒以上の無音部分 * を検出し、その後音声が入力されると曲番号(トラックナンバー)を記録します(**P.22**)。
◆ アナログシンクロ録音は音による検出をしているため正しく動作しないことがあります。あらかじめ確認してから録音することをおすすめします。(**P.22**)
・外部機器からの音声がクラシック音楽や会話など(音量が小さい、無音部分 * が続く、または無録音部分にノイズがある音声など)のときは曲番号(トラックナンバー)の更新が正しくできないことがあります。
・シンクロ録音では、5 秒以上の無音部分*を曲間と判断して録音を終了します。ただし 1 曲シンクロ録音では、2 秒の無音部分 * を曲間と判断して録音を終了します。

＊ 無音部分の調整については **P.22**「トラックナンバーを自動更新する」をご覧ください。

シンクロ録音する

1 曲のみ録音する

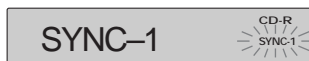
1 曲シンクロ録音といいます。
CDやDAT、MD、DCCプレーヤーから1曲ずつ編集録音するときに便利な機能です。ただし、上記以外のデジタル機器では、この機能を使用することはできません。

1. ディスクトレイに録音できるCD-RディスクまたはCD-RWディスクを入れる(P.14)

2. 入力切換ボタン(INPUT SELECTOR)を押して、録音したい入力を選ぶ

- ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。
"**ANALOG**"➡"**OPTICAL**"➡"**COAXIAL**"
選んだ入力のインジケーターが点灯します。
- 録音レベルを調整することができます(**P.19**、**P.20**)。

3. シンクロボタン(SYNCHRO)を1回押す

- "**SYNC-1**" インジケーターが点滅するまでお待ちください。

4. 録音したいプレーヤーの演奏を始める

- 音が検出されると自動的に録音が始まります。
- 曲が終わると自動的に録音が一時停止します。

1 曲シンクロ録音を終了する

本機の停止ボタン(■)を押します。

- 表示部に"**PMA REC**"と表示され、ディスク情報を記録してから停止します。

全曲を録音する

全曲シンクロ録音といいます。
CDやDAT、MD、DCCプレーヤーから全曲まるごと録音するときに便利な機能です。ただし、上記以外のデジタル機器では、この機能を使用することはできません。

1. ディスクトレイに録音できるCD-Rディスクまたは CD-RW ディスクを入れる(P.14)

2. 入力切換ボタン(INPUT SELECTOR)を押して、録音したい入力を選ぶ

- ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。
"**ANALOG**"➡"**OPTICAL**"➡"**COAXIAL**"
選んだ入力のインジケーターが点灯します。
- 録音レベルを調整することができます(**P.19**、**P.20**)。

3. シンクロボタン(SYNCHRO)を2回押す

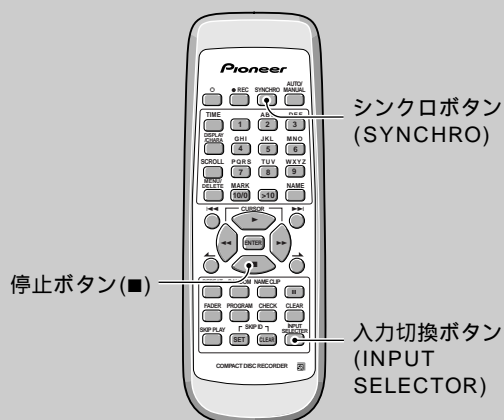
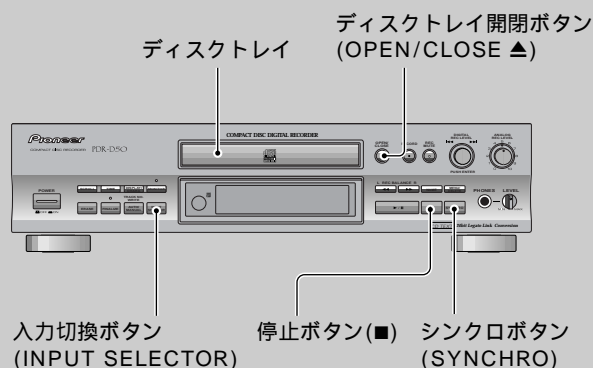
- "**SYNC**" インジケーターが点滅するまでお待ちください。

4. 録音したいプレーヤーの演奏を始める

- 音が検出されると自動的に録音が始まります。
- ディスクの全曲が終わると自動的に録音が一時停止します。

全曲シンクロ録音を終了する

本機の停止ボタン(■)を押します。

- 表示部に"**PMA REC**"と表示され、ディスク情報を記録してから停止します。

シンクロ録音する

自動ファイナライズ録音する

この機能は全曲シンクロ録音が終了した後､自動的にファイナライズ処理を行なうものです｡ファイナライズは標準的なCDプレーヤーでCD-RディスクやCD-RWディスクを再生可能にする録音の最後の行程です。(ただし、CD-RWディスクはCD-RWディスク対応プレーヤーでしか再生できません。) CDやDAT、MD、DCCプレーヤー以外のデジタル機器では､この機能を使用することはできません。

1. ディスクトレイに録音できる CD-R ディスクまたは CD-RW ディスクを入れる(P.14)

2. 入力切換ボタン(INPUT SELECTOR)を押して、録音したい入力を選ぶ

- ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。"**ANALOG**"➡"**OPTICAL**"➡"**COAXIAL**" 選んだ入力のインジケーターが点灯します。
- 録音レベルを調整することができます(**P.19**、**P.20**)。

3. シンクロボタン(SYNCHRO)を 3 回押す

- "**SYNC**" インジケーターと "**FINALIZE**" インジケーターが点滅します。

SYNC–FINAL CD-R FINALIZE SYNC

4. 録音したいプレーヤーの演奏を始める

- 音が検出されると自動的に録音が始まります。
- 演奏が終わると自動的に録音が一時停止します。
- 録音中に 1 分以上音が検出されないと自動的にファイナライズを始めます。音の検出レベルについては **P.22** をご覧ください。
- ファイナライズが終了すると、自動的に録音は停止します。

自動ファイナライズ録音を終了する

本機の停止ボタン(■)を押します。

- ファイナライズが開始されるまでは、停止ボタン(■)を押すと録音を解除することができます。

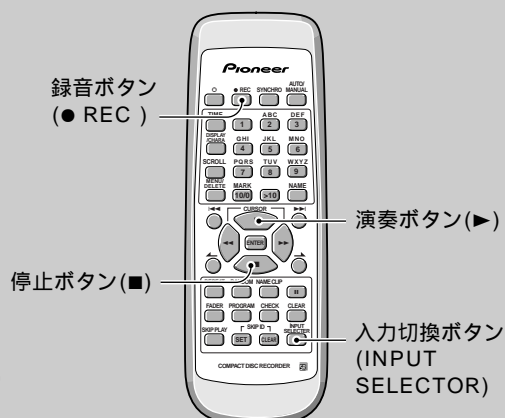
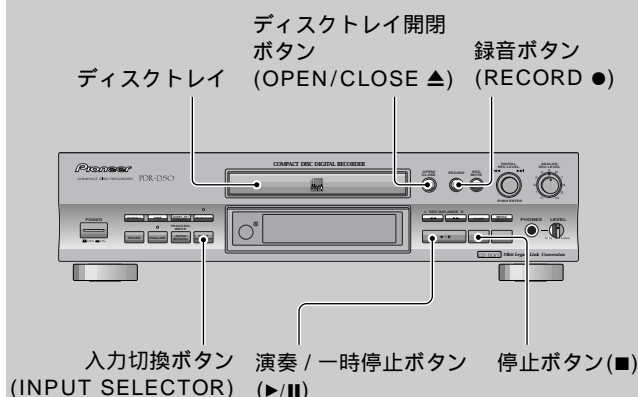
録音中にシンクロボタン(SYNCHRO)を押します。

- ファイナライズ動作のみを解除することができます。"**FINALIZE**" インジケーターが消灯します。

注意

◆ CD-R、またはCD-RWディスクに録音中、ディスクに録音できる時間がなくなったときはファイナライズをして録音を終了します。

◆ 自動ファイナライズ録音した後は､名前を入力することができません｡名前を入力する場合は全曲シンクロ録音で録音してください。

マニュアル録音する

再生機器とシンクロさせずに手動で録音する場合はこのモードで録音します。CD、MD、DAT、DCC プレーヤーからの録音はデジタルシンクロ録音が便利です。レコードプレーヤー、カセットデッキからの録音はアナログシンクロ録音が便利です。

1. ディスクトレイに録音できる CD-R ディスクまたは CD-RW ディスクを入れる(P.14)

2. 入力切換ボタン(INPUT SELECTOR)を押して、"OPTICAL"、"COAXIAL" または "ANALOG" を選ぶ

- ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。
  "**ANALOG**"➡"**OPTICAL**"➡"**COAXIAL**"
  選んだ入力のインジケーターが点灯します。
- マニュアルアナログ録音するときは"**ANALOG**"を、マニュアルデジタル録音するときは "**OPTICAL**" または "**COAXIAL**" を選択します。
- 録音レベルを調整することができます(**P.19**、**P.20**)。

3. 録音ボタン(RECORD ●)を押す

- デジタルの場合は表示の内容が、入力の種類の表示（INPUT表示）➡入力カテゴリー表示➡入力サンプリング周波数表示を数秒ずつ表示してから録音一時停止状態になります。
- アナログの場合は "**ANALOG**" と表示した後に録音トラックを表示して録音一時停止状態になります。

4. 演奏 / 一時停止ボタン(▶/II)を押す

- 録音が始まります。

5. 録音したいプレーヤーの演奏を始める

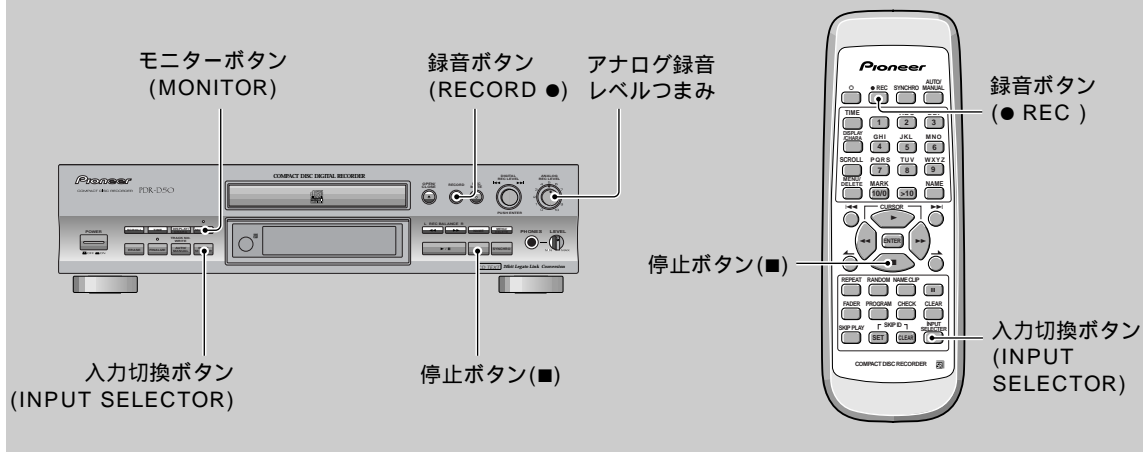
マニュアル録音を終了する

本機の停止ボタン(■)を押します。

- 表示部に "**PMA REC**" と表示され、ディスク情報を記録してから停止します。

- マニュアルアナログ録音の場合、AUTO TRACK (AUTO.TRK)インジケーターが点灯しているとき、トラックナンバーは自動的に更新されます。
  この機能は、2 秒以上の無音部分*をトラック間の区切りと認識してトラックナンバーを更新しています。このため、低い入力レベルや雑音が続く状態ではトラックナンバーを更新する場所が正しく判断されないことがあります。このような場合には、トラックナンバーの自動更新機能を解除して、トラックナンバーの更新を手動で行なってください(**P.23**)。
- マニュアルデジタル録音の場合、AUTO TRACK (AUTO.TRK)インジケーターが点灯しているとき、トラックナンバーは自動的に更新されます。CD、MD、DAT 、DCCなどの録音中、トラックナンバーはデジタル信号情報によって自動的に更新されます。しかし、トラックナンバーを持たない衛星放送のようなデジタルメディアの場合は、アナログ・ソースのときと同様に 2 秒以上の無音部分 * をトラック間の区切りと認識して、トラックナンバーを更新します。このため、無音状態の長いクラシック音楽などは、実際よりもトラック数が多く記録されてしまうことがあります。これを防ぐにはトラックナンバーの自動更新機能を解除して、トラックナンバーの更新を手動で行なってください(**P.23**)。

＊ 無音部分の調整については**P.22**「トラックナンバーを自動更新する」をご覧ください。

アナログ録音レベルを調整する

シンクロ録音の場合も、マニュアル録音の場合も、アナログで録音するときは録音レベルを調整することをおすすめします。

1. 入力切換ボタン(INPUT SELECTOR)を押して、"ANALOG" を選ぶ

- ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。
  "**ANALOG**"➡"**OPTICAL**"➡"**COAXIAL**"
  選んだ入力のインジケーターが点灯します。

2. モニターボタン(MONITOR)を押す

- 録音ボタン(RECORD ●)でも操作することができます。
- 録音ボタン(RECORD ●)を押した場合は録音一時停止状態になります。

3. 演奏側のプレーヤーの演奏を開始する

4. アナログ録音レベルつまみ (ANALOG REC LEVEL)で、録音レベルを調整する

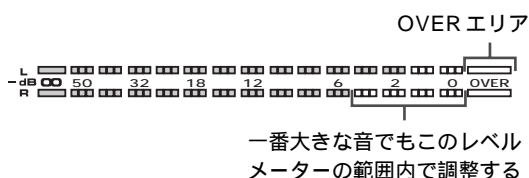
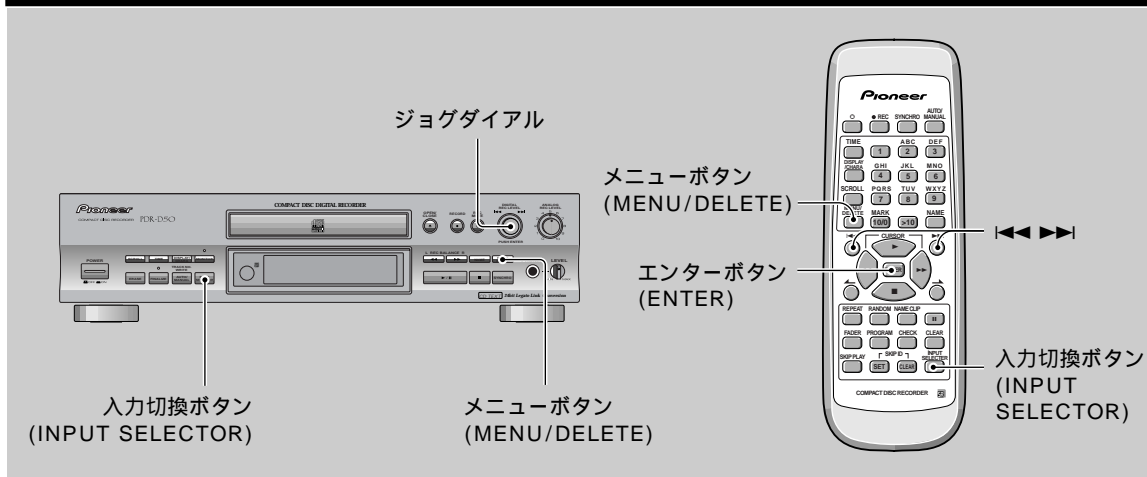
- 録音レベルは、一番大きな音が入ったときに、OVER エリアが点灯しない目安で調整します。

OVER エリア

L
–dB ∞ 50 32 18 12 6 2 0 OVER
R

一番大きな音でもこのレベル
メーターの範囲内で調整する

5. 演奏側のプレーヤーの演奏を停止する

6. 本機の停止ボタン(■)を押します。

デジタル録音レベルを調整する

デジタル録音するときは、通常デジタル入力の録音レベルを調整する必要はありませんが、下記のようなとき調整することをおすすめします。

- 衛星放送をデジタル録音するとき(メモ)
- 音量レベルが小さいMDやCDなどからデジタル録音するとき

1. 入力切換ボタン(INPUT SELECTOR)を押して、"OPTICAL"または"CO-AXIAL"を選ぶ

- ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。
  "ANALOG"➡"OPTICAL"➡"COAXIAL"
  選んだ入力のインジケーターが点灯します。

2. メニューボタン（MENU/DELETE）を押す

3. ジョグダイアルを回して、"D.VOL 0.0dB"を選ぶ

- リモコンの ⏮ ⏭ ボタンでも選択できます。

D.VOL 0.0dB　CD-R

4. ジョグダイアルまたはエンターボタン(ENTER)を押す

5. ジョグダイアルを回して、デジタル録音レベルを選ぶ

- デジタル録音レベルの調整範囲は、"**MIN 〜 +20dB**"です。
- ジョグダイアルまたはENTERボタンを3秒間押し続けることで初期値の0.0dBに戻ります。

VOL -- L R 0.5 dB

6. ジョグダイアルまたはエンターボタン(ENTER)を押す

- デジタル録音レベルが設定されます。

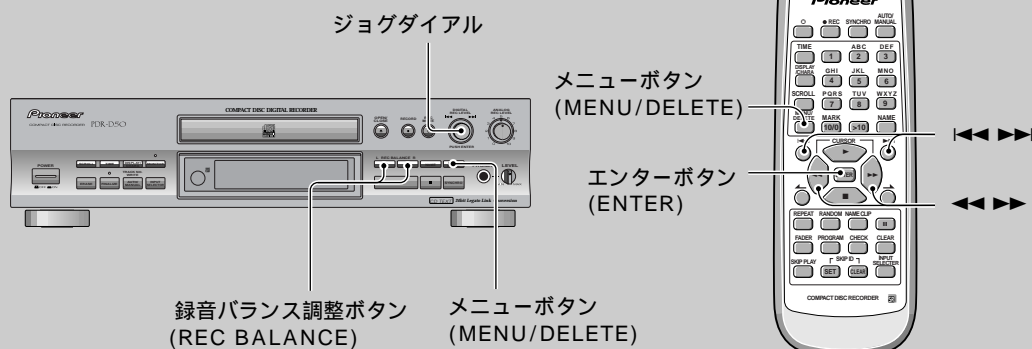
メモ

- CSやBS放送などからデジタル録音すると、市販のCDからの録音に比べ音声レベルが低く録音される傾向があります。これは、放送局から出力される音声レベルが低いためです。故障ではありません。
- 電源をOFFにした後も、設定したレベルは本体に記憶されます。
- デジタル録音レベルの設定は各入力ごとに設定することができます。

注意

◆ 録音レベルを調整した後、続けてシンクロ録音をするときは、演奏している機器を停止させてから行ってください。

◆ HDCDやDTS CDを録音するときは、デジタル入力の録音レベルを0.0dB(初期値)にしてください。

録音バランスを調整する

デジタル録音、アナログ録音ともに左右バランスを調整することができます。

1. メニューボタン(MENU/DELETE)を押す

2. ジョグダイアルを回して、"BALANCE"を選ぶ

- リモコンの⏮◀◀ ▶▶⏭ボタンでも選択できます。

BALANCE

3. ジョグダイアルまたはエンターボタン(ENTER)を押す

4. 録音バランス調整ボタン(REC BALANCE)を押して左右の録音バランスを調整する

- ◀◀ ボタンを押すとL側のバランスレベルが上がり、▶▶ボタンを押すとR側のバランスレベルが上がります。

L----I-----R

- ジョグダイアルまたはENTERボタンを3秒間押し続けることで初期値のCENTERに戻ります。
- L側のバランスレベルを上げると**R**は消灯し、R側のバランスレベルを上げると**L**は消灯します。

VOL L 0.0 dB

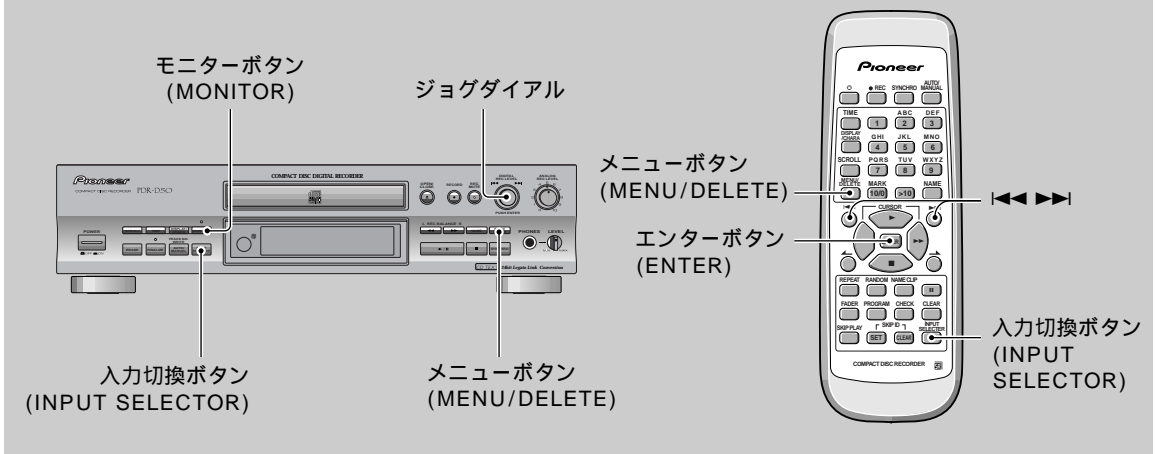
5. ジョグダイアルまたはエンターボタン(ENTER)を押す

- 録音バランスが設定されます。

BALANCE

メモ

- 録音バランスの設定は各入力ごとに設定することができます。
- 電源をOFFにした後も、設定したレベルは本体に記憶されます。
- 調整できる左右のバランスレベルの差は、アナログ入力の場合は最大約7dB、デジタル入力の場合は最大約5dBまでです。

知っていると便利な録音のしかた

トラックナンバーを自動更新する

録音スタンバイ状態に入った時には、トラックナンバーの自動更新モードが自動的に選ばれています("**AUTO TRK**"が点灯)。自動更新モードの場合は、録音中に音楽信号やデジタル信号の検出によって、トラックナンバーが自動的に更新されます。本機では曲の切り換わりを判別する音の検出レベルを設定することができます。

1. メニューボタン(MENU/DELETE)を押す

2. ジョグダイアルを回して、"A.LVL –54dB"を選ぶ

- リモコンの⏮ ⏭ボタンでも選択できます。

A.LVL –54dB　CD-R

3. ジョグダイアルまたはエンターボタン(ENTER)を押す

4. ジョグダイアルを回して、音の検出レベルを選ぶ

- リモコンの⏮ ⏭ボタンでも選択できます。
- **–24dB**、**–30dB**、**–36dB**、**–42dB**、**–48dB**、**–54dB**、**–60dB**、**–66dB**、**–72dB**、**–78dB**を選択することができます。
  アナログの場合は**–24dB 〜 –66dB**の範囲で選択できます。
- 選んだレベルでトラックナンバーが自動更新されるかを確認することができます(本ページ)。

–24dB –30dB –36dB –42dB –48dB –54dB –60dB –66dB –72dB –78dB

無音部分にノイズがあっても 検出しやすい設定 ⟷ 無音部分にノイズがあると検出しずらい設定

5. ジョグダイアルまたはエンターボタン(ENTER)を押す

- 音の検出レベルが設定されます。

メモ
- 初期設定は –54dB です。
- 電源を OFF にした後も、設定したレベルは本体に記憶されます。
- 音の検出レベルの設定は各入力ごとに設定することができます。

トラックナンバーが自動更新するか確認する

1. モニターボタン(MONITOR)を押す

2. 入力切換ボタン(INPUT SELECTOR)押して録音したい入力を選ぶ

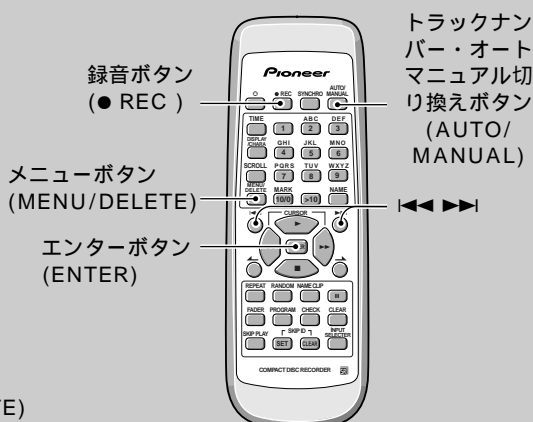
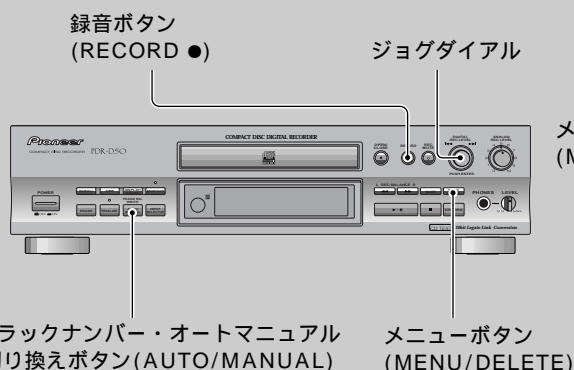
- ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。
  "**ANALOG**"➡"**OPTICAL**"➡"**COAXIAL**"
  選んだ入力のインジケーターが点灯します。

3. 録音したいプレーヤーの演奏を始める

- トラックナンバーが更新されるポイントでは"**TRACK**" が点滅します。

TRACK MONITOR

- 曲の切りかわりでない所で "**TRACK**" が点滅するようであったら、音の検出レベルを再調整してください。

知っていると便利な録音のしかた

トラックナンバーの更新時間を設定する

トラックナンバーを信号の検出に関係することなく、設定した時間ごとに、自動で更新することができます。この機能をタイムトラックインクリメントといいます。タイムトラックインクリメントでの録音はトラックナンバーの自動更新モード(**AUTO TRK**)でのみ有効です。

1. メニューボタン (MENU/DELETE) を押す

2. ジョグダイアルを回して、"T.INC OFF" を選ぶ

- リモコンの⏮◀◀ ▶▶⏭ボタンでも選択できます。

T.INC OFF　CD-R

3. ジョグダイアルまたはエンターボタン(ENTER)を押す

4. ジョグダイアルを回して、トラックナンバーの更新時間を選ぶ

- リモコンの⏮◀◀ ▶▶⏭ボタンでも選択できます。
- 更新時間は OFF、1 分、3 分、5 分を選択することができます。

T.INC 5min?　CD-R

5. ジョグダイアルまたはエンターボタン(ENTER)を押す

- トラックナンバーの更新時間が設定されます。

メモ

- 初期設定は OFF です。
- 録音中は "**AUTO TRK**" が点滅します。
- 電源をOFFにした場合や録音終了後、またはAUTO TRACKがOFFにされたときはタイムトラックインクリメントの設定時間は OFF に戻ります。

トラックナンバーを手動更新する

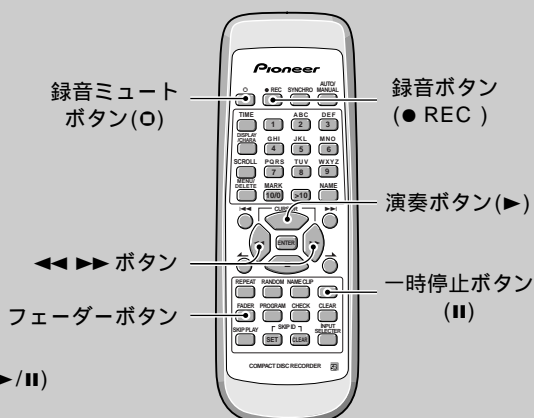
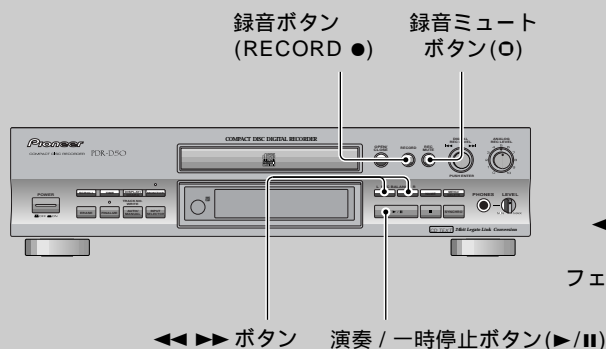
好きなときにトラックナンバーを更新したいときは、更新モードをマニュアルに設定します。

1. 録音スタンバイ状態でトラックナンバー・オートマニュアル切り換えボタン(AUTO/MANUAL)を押す

- "**MANU TRK**" が点灯します。

2. 録音を開始し、録音中トラックナンバーを更新したい場所で録音ボタン(RECORD ●)ボタンを押す

- 録音が始まって4秒以上経過したあとから、トラックナンバーの更新ができます。トラックナンバー更新後4秒間はトラックの更新はできません。

知っていると便利な録音のしかた

曲の初めと終わりの音量を調整して録音する(フェード録音)

だんだんと音量を上げて録音を開始する(フェードイン)

1. 録音スタンバイ状態で、フェーダーボタンを押す

- 徐々に音量を上げながら録音します。この間、"**FADER**" インジケーターが点滅します。

だんだんと音量を下げて録音を終了する(フェードアウト)

1. 録音中にフェーダーボタンを押す

- ボタンを押すと徐々に音量が下がりながら録音は終了します。この間、"**FADER**" インジケーターが点滅します。

メモ

- 本機は録音中、録音の残り時間が３秒以下になった場合、自動的にフェードアウトして録音を終了します。これは出来上がったディスクを演奏中、最後で突然音が途切れるのを防ぐためです。
- フェードイン、アウトの時間は１秒〜１２秒の間で自由に設定することができます。設定のしかたはP.40 をご覧ください。

録音を一時停止する

1. 一時的に録音を停止するには一時停止ボタン(❚❚)を押す

- 再度録音を開始するには、一時停止ボタン(❚❚)か演奏ボタン(▶)を押します。

曲の終わりに無音部分をつくる

1. 録音中または録音スタンバイ中に録音ミュートボタン(○)を押す

- "**REC**" インジケーターが点滅し、無音を録音します。約４秒後自動的に録音スタンバイ状態になります。

メモ

- ４秒以上無音部分をつくる場合は、録音 ミュートボタン(○)を押し続けてください。ボタンから手を放すと、録音スタンバイ状態に入ります。

注意

◆ 録音 ミュートボタン(○)は録音中か、録音状態から録音スタンバイ状態に入ったときに一度だけ有効です。停止状態から録音スタンバイ状態に入ったときや１度無音部分をつくった後では、録音 ミュートボタン(○)は働きません。

ディスクに録音されている最後の部分を確認する

1. 録音ボタン(RECORD ●)ボタンを押して録音スタンバイ状態にする

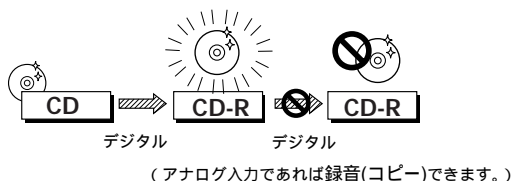
2. ◀◀ ボタンを押し続ける

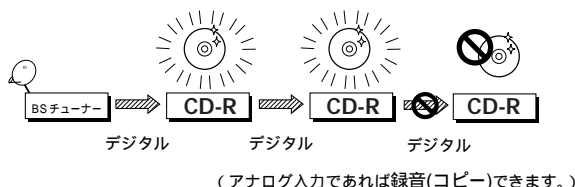
- ボタンを押し続けている間、最大２分まで早戻しします。ボタンを放すと、そこから録音されている最後の部分まで演奏を行い、再度録音スタンバイ状態になります。
- 録音ボタン(RECORD ●)を押すと録音スタンバイ状態に戻ります。
- ▶▶ ボタンを押し続けると早送りすることができます。

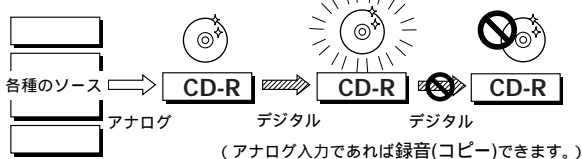
SCMS

デジタル入力で録音(コピー)したものを、さらに別のMDやCD-R/CD-RWなどにデジタル録音(コピー)することはできません。これはSCMSにより定められているためです。SCMSとは、シリアルコピーマネージメントシステム(Serial Copy Management System)の略で、デジタル信号による録音(コピー)を「何世代まで」と規制している方式です。ソースによって「何世代まで」録音(コピー)できるかが異なります。

1. 著作権のあるCDやMD、DATミュージックテープは一世代だけデジタル録音(コピー)できます。

(アナログ入力であれば録音(コピー)できます。)

2. 衛星放送のデジタル信号は二世代までデジタル録音(コピー)することができます。ただし、BS/CSチューナーによっては、二世代目ができないことがあります。

(アナログ入力であれば録音(コピー)できます。)

3. アナログ入力で録音(コピー)されたディスクは、録音元のソースに係わらず一世代までデジタルコピー(録音)することができます。

(アナログ入力であれば録音(コピー)できます。)

デジタル録音の許可/禁止状態を調べる

例) 光デジタル入力端子(OPTICAL IN)に外部機器を接続している場合

1. 停止中に入力切換ボタン(INPUT)を押して、"OPTICAL"を選ぶ

2. モニターボタン(MONITOR)を押す

入力の種類の表示(INPUT表示)➡入力カテゴリー表示➡入力サンプリング周波数表示を数秒ずつ表示し、最後に**MONITOR**と表示されます。

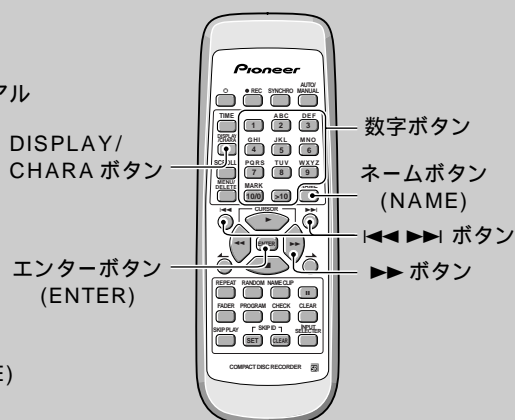
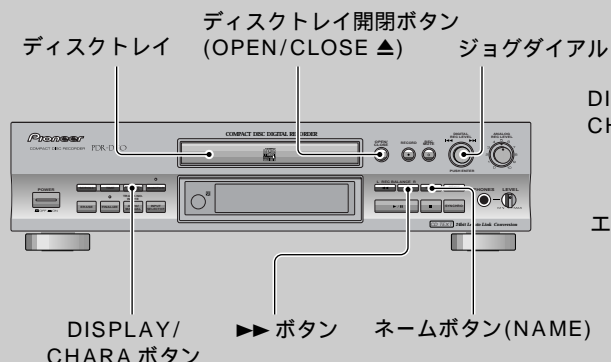
3. 演奏側のプレーヤーを演奏する

MONITORと表示されたままならコピー可能です。コピー禁止の場合は"**Can't COPY**"が表示されます。

- デジタル接続をしていないときは"**DIN UNLOCK**"と表示されます。

注意

◆ デジタル録音しようとしているディスクの種類によって、サンプリング周波数が異なります(32k/44k/48k)。
◆ 演奏する機器の名前は、デジタル録音しようとしているディスクがCD、MD、DAT、DCC、DVDで、さらにそれらの機器がデジタル接続されているときのみ表示します。
◆ CD、CDV、またはLDなどからデジタル録音するときは、演奏する機器の名前はすべて"**CD**"と表示されます。
◆ CDの1曲の最少録音時間は4秒以上と定められています。録音開始後、すぐに停止、または一時停止などの操作をしても、無音状態が4秒以上記録されないと操作は実行されません。この間、他の操作はできません。

録音したディスクに名前をつける(ネーム機能)

ネーム機能について

- ファイナライズのされていない CD-R ディスクまたは CD-RW ディスクには、最大 99 曲の曲名とひとつのディスク名、ひとつのアーティスト名をつけることができます。
- ファイナライズしたディスクには名前をつけることはできません。
- 名前をつけた CD-R ディスクまたは CD-RW ディスクをファイナライズせずに取り出すと、入力された名前は本体で自動的に記憶します。このディスクを挿入すると、入力した名前が表示されます。
- 入力した名前はディスク3枚分まで記憶可能です。3枚分記憶された状態で、新たなディスクに名前をつける場合は、すでに名前をつけたディスクをファイナライズしてください。4 枚目のディスクに名前をつけて、ファイナライズせずに取り出すと、**最初のディスクに入力した名前の情報は失われます。**
- 文字を入力する方法は、本体で入力する方法と、リモコンで入力する方法があります。
- ひとつの名前に対して 120 文字、1 枚のディスクに 2000 文字まで入力することができます。
- 本機で名前を入力したディスクを本機以外のCD-Rで追加録音した場合、ネーム機能は使用できなくなります。

名前をつける

1. ディスクトレイに名前をつけたいディスクを入れる(P.14)

2. ディスク名をつけるときは....

- 停止中にネームボタン(NAME)を1回押します。

DISC NAME　CD-R

アーティスト名をつけるときは....

- 停止中にネームボタン(NAME)を2回押します。

ARTIST NAME　CD-R

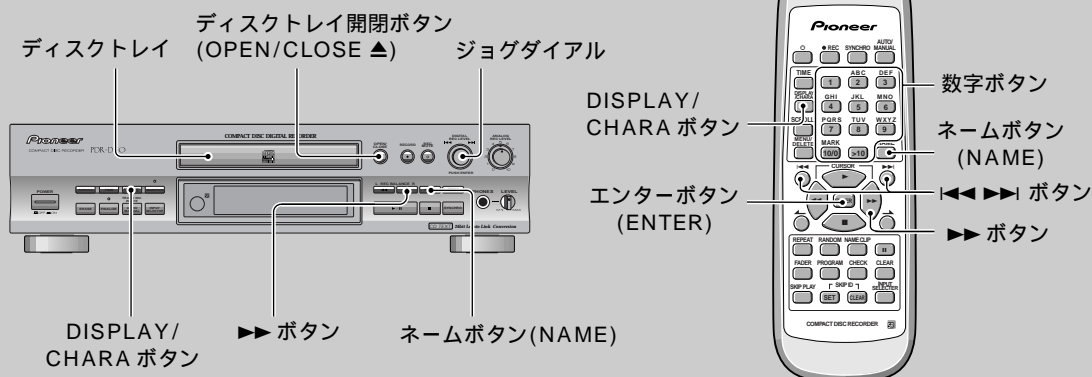
曲に名前をつけるときは....

- 名前をつけたい曲を選曲してからネームボタン(NAME)を 1 回押します。曲の選び方は **P.36** をご覧ください。

TRACK NAME　CD-R

- 名前をつけたい曲は演奏中、演奏一時停止中のときにも入力することができます。

- それぞれのモードで約2秒間、なにも操作がない場合はテキスト入力モードに入ります。(リモコンの ENTER ボタンまたはジョグダイアルを押すことでもテキスト入力モードに入ることができます。)

録音したディスクに名前をつける(ネーム機能)

3. ジョグダイアルまたはリモコンの |◀◀ ▶▶| ボタンで入力する文字を選ぶ

- 入力できる文字の種類については メモ をご覧ください。
- 英字の大文字と小文字、数字 / 記号を切り換える場合はDISPLAY/CHARAボタンを押します。
- リモコンの数字ボタンでも選ぶことができます。数字ボタンで記号を選ぶときは **10/0 ボタン**を押します。

4. ジョグダイアルまたはリモコンのエンターボタン(ENTER)を押して、選んだ文字を決定する

- ▶▶ ボタンでも決定することができます。

5. 手順 3 から 4 を繰り返して名前を入力する

6. 名前の入力が終わったら、ネームボタン(NAME)を押す

文字入力モードが終了します。

メモ

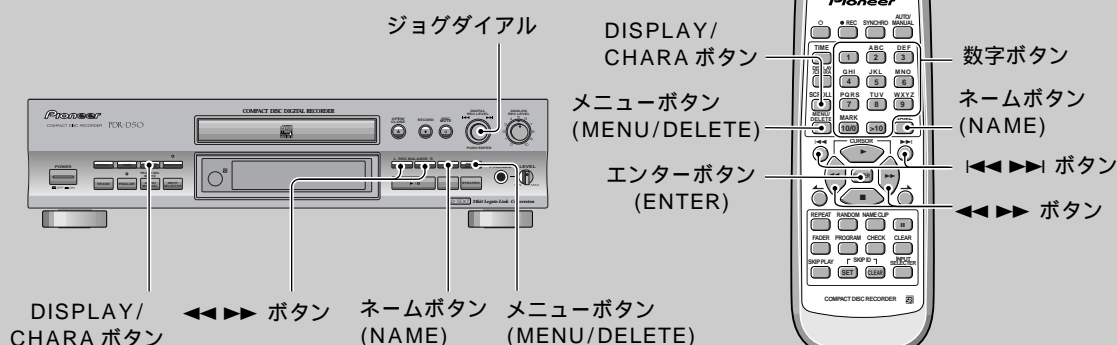
ネーム機能で入力できる文字の種類

- アルファベット (大文字)
  ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
- アルファベット (小文字)
  abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
- 数字 / 記号
  1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ! ” # $ % & ’ ( ) ＊ + , ー . / <=> ?
  @[ ]^_ ` { | }(スペース / 空白)

注意

◆ 演奏中に曲名を入力していて、名前の入力が完了する前に次の曲になった場合は、そのときまで入力していた文字を曲名として決定します。演奏が終わってから入力し直してください。

◆ 名前を入力した後は、電源を切る前にディスクを取り出すか、ファイナライズを行ってください。

ディスクにつけた名前を修正する

文字を追加する

ディスクにつけたディスク名や曲名、アーティスト名を修正（文字の追加 / 変更 / 消去）することができます。ファイナライズされたディスクは修正できません。

1. ネームボタン(NAME)を押して文字を追加したい入力モードにする

- ディスク名の場合は停止中に 1 回、アーティスト名の場合は停止中に 2 回、曲名の場合は曲を選曲してからネームボタン(NAME)を1回押します。

2. ◀◀ ▶▶ ボタンで追加する文字の位置を選ぶ

BEST OF EST　CD-R

3. ジョグダイアルまたはリモコンの|◀◀ ▶▶| ボタンで入力する文字を選ぶ

- 入力できる文字の種類については**P.27** メモ をご覧ください。
- 英字の大文字と小文字、数字 / 記号を切り換える場合はDISPLAY/CHARAボタンを押します。
- リモコンの数字ボタンでも選ぶことができます。数字ボタンで記号を選ぶときは **10/0 ボタン**を押します。

4. ジョグダイアルまたはリモコンのエンターボタン(ENTER)を押して、選んだ文字を決定する

BEST OF BEST　CD-R

5. ネームボタン(NAME)を押す

文字入力モードが終了します。

文字を削除する

1. ネームボタン(NAME)を押して文字を変更したい入力モードにする

- ディスク名の場合は停止中に 1 回、アーティスト名の場合は停止中に 2 回、曲名の場合は曲を選曲してからネームボタン(NAME)を1回押します。

2. ◀◀ ▶▶ ボタンで消去したい文字の位置を選ぶ

BESTT　CD-R

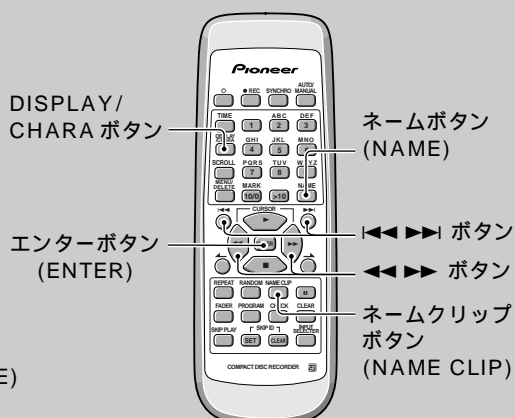
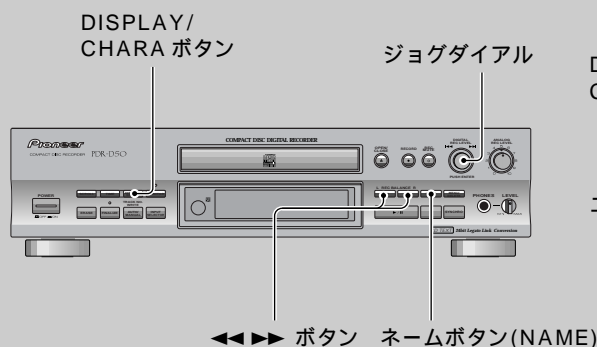
3. メニューボタン(MENU/DELETE)を押す

文字が消去されます。

BEST　CD-R

4. ネームボタン(NAME)を押す

文字入力モードが終了します。

よくつかう名前を記憶してコピーする

コピーしたい名前を記憶する

同じ様な名前を何度も入力するときなどに、この機能をつかうと便利です。すでに入力されている名前を記憶し、何回でもコピーすることができます。最大40文字までの名前を 3 つ記憶することができます。

1. DISPLAY/CHARA ボタンを押してコピーしたい名前を表示させる

BEST OF BEST　CD-R

2. ネームクリップボタン(NAME CLIP)を押す

- "**name clip**" と数秒間表示し、名前が記憶されたことを知らせます。
- 3 つ目以降に名前の記憶をすると、一番古い名前が消去され、新しい名前が上書きされます。

⬇

BEST OF BEST　CD-R

記憶した名前をコピー入力する

1. ネームボタン(NAME)を押して、名前をコピーしたい入力モードにする

2. ◀◀ ▶▶ ボタンで名前をコピーしたい位置を選ぶ

MY _　CD-R

3. ネームクリップボタン(NAME CLIP)を押す

- 名前を一つしか記憶していない場合は、手順 5 に進んでください。

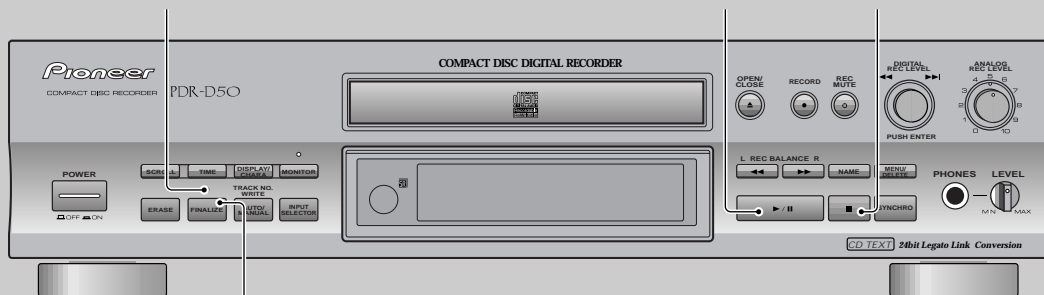
4. ジョグダイアルまたはリモコンの |◀◀ ▶▶| ボタンでコピーしたい名前を選ぶ

5. ジョグダイアルまたはリモコンのエンターボタン(ENTER)を押して、選んだ名前をコピーする

MY BEST OF B　CD-R

6. ネームボタン(NAME)を押す

文字入力モードが終了します。

ファイナライズ(TOC 記録)のしかた

ファイナライズ（TOC 記録）について

ファイナライズとは、録音が終了したCD-R、またはCD-RW を一般の CD プレーヤーで演奏できるようにする最終処理です（ただし、CD-RWはCD-RW対応プレーヤーでしか演奏できません）。ファイナライズは約２分で完了します。

ファイナライズ（TOC 記録）のしかた

1. 録音が終わった CD-R、または CD-RW を入れる

2. ファイナライズボタン(FINALIZE) を押す

- ファイナライズインジケーターが点灯します。
- ファイナライズが終了するまでの残り時間が表示されます。

TOC 2:03

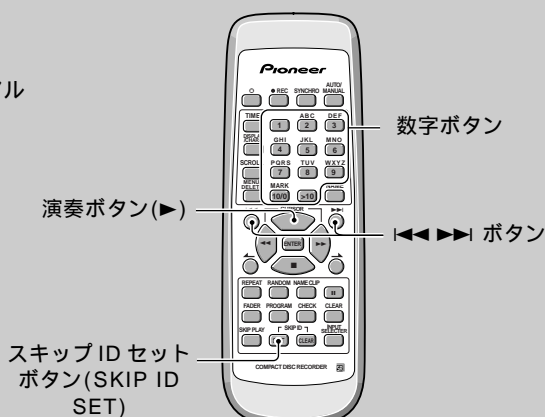
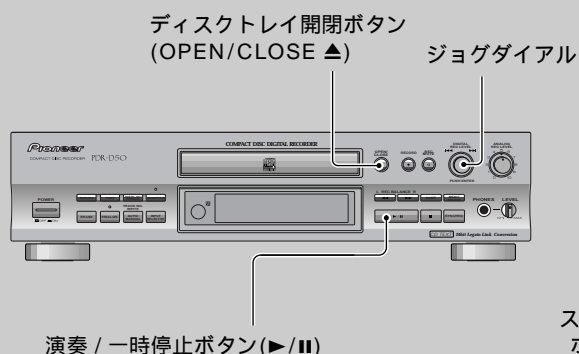
- ファイナライズしないときは**停止ボタン（■）**を押します。

3. 演奏 / 一時停止ボタン(►/II)を押す

- ファイナライズを開始します。
- ファイナライズが完了すると自動的に停止します。

注意

- ◆ ファイナライズ開始後は、本機の操作はできません。
- ◆ ファイナライズが完了した CD-R/CD-RW に、追加録音、およびスキップ情報の指定、または解除をすることはできません。
- ◆ キズ、汚れ、またはホコリのついている CD-R/CD-RW をファイナライズすると、処理が完了しないことがあります。約10分経過しても処理が完了しないときは、**停止ボタン（■）**を押して強制的に処理を中断することができます。ただし、このCD-R/CD-RWは一般の CD プレーヤーでは演奏できません。
- ◆ **ファイナライズ中は絶対に電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。ディスク破損の原因となります。**

スキップモードについて

スキップ情報を指定する

聴きたくない曲(録音を失敗した曲など)を飛ばして演奏するスキップ情報を指定することができます。スキップ情報の指定と解除は、最大21回までです。スキップ情報を何度も指定・解除すると、スキップ情報を指定できる曲数が少なくなる場合もあります。

1. スキップしたい曲を演奏する

- リモコンの数字ボタンか⏮ ⏭ ボタン、または本体のジョグダイアルで曲を選択します。

2. スキップ ID セットボタンを押す

03 SKIP SET　CD-R

- 演奏している曲を繰り返し演奏します。
  (演奏している曲にスキップ情報がすでに指定されているときは、次の曲を繰り返し演奏します。)
- 演奏ボタン(►)または**スキップ ID クリアボタン(SKIP ID CLEAR)**を押すと、手順 1 に戻ります。

3. もう一度、スキップIDセットボタンを押す

03 SKIP SET　CD-R

- 2 秒間表示してからもとの表示に戻ります。

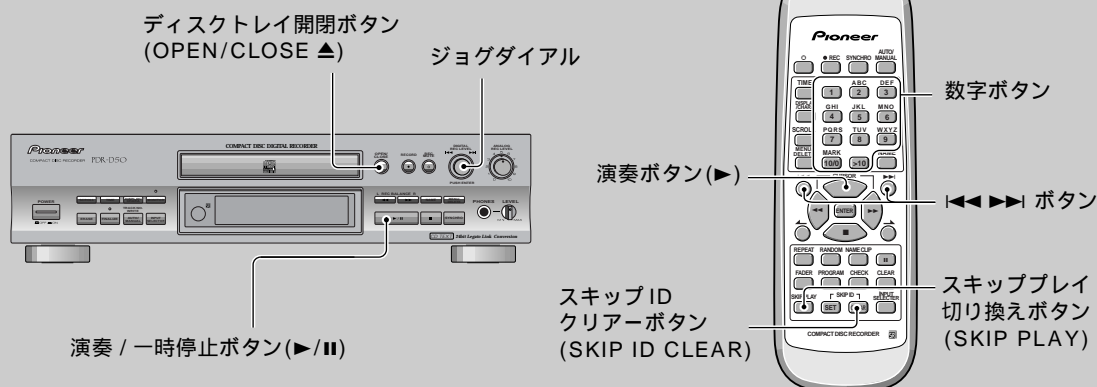
4. 1～3 の作業を繰り返して、他の曲のスキップ情報を指定する

5. スキップ情報の指定が終了後、ディスクトレイ開閉ボタン(▲)を押す

- スキップ情報がディスク上に記録されます。このとき、数秒間 "**PMA REC**" 表示が点滅します。スキップ情報が記録された後、トレイが開きます。

注意

◆ スキップ機能のないCDプレーヤーでスキップ演奏することはできません。
◆ 市販のCD、またはファイナライズしてあるCD-R/CD-RWでは、スキップ情報を指定 / 解除することはできません。
◆ プログラム演奏、またはランダム演奏中にスキップ情報を指定 / 解除することはできません。
◆ スキップ情報は指定・解除の数が限られており、"**SKIP FULL**" と表示されたときはそれ以上の指定・解除ができません。

スキップモードについて

スキップ情報を解除する

1. **スキッププレイ切り換えボタン(SKIP PLAY)を押す**

- "**SKIP ON**" インジケーターが消えます。(もともとスキップ情報を持たないCD-RディスクやCD-RWディスクでは、SKIP ONは点灯しません。)

2. **スキップ解除したい曲を演奏する**

- リモコンの数字ボタンか◄◄/►►ボタン、または本体のジョグダイアルで曲を選択します。

3. **スキップIDクリアーボタンを押す**

03 SKIP CLR　CD-R SKIP

- 演奏ボタン(►)または**スキップIDセットボタン(SKIP ID SET)**を押すと、手順1に戻ります。

4. **もう一度、スキップIDクリアーボタンを押す**

03 SKIP CLR　CD-R

- "**SKIP**" が消灯します。

5. **2～4の作業を繰り返して、他の曲のスキップ情報を指定する**

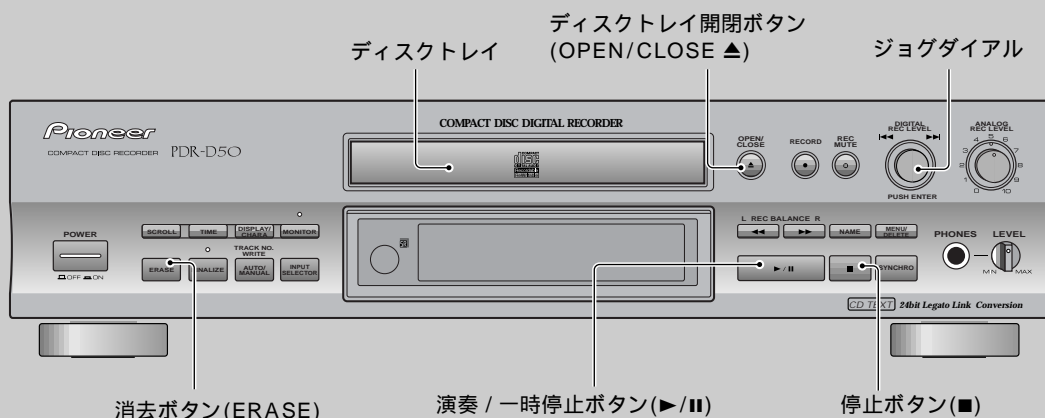
6. **スキップ情報の解除が終了後、ディスクトレイ開閉ボタン(▲)を押す**

- スキップ情報がディスク上に記録されます。このとき、数秒間 "**PMA REC**" 表示が点滅します。スキップ情報が記録された後、トレイが開きます。

注意

◆ スキップ情報の指定されていない曲を演奏中にSKIP ID CLEARボタンを押すと、スキップ情報の指定された次の曲を探し（次の曲がない場合はディスクの最初へ戻る）、演奏を開始します。（スキップ情報を持たないディスクでは働きません）

◆ "ーー **SKIP CLR**" が点滅表示されている間にトラック・サーチボタン（◄◄または►►）を押すと、スキップ情報の指定されている曲が、順番に演奏されます。

CD-RW ディスクを消去する

CD-RWディスクは消去した後に新たな録音が可能です。消去の方法は以下の 5 通りです。

● 最終曲消去(本ページ)

ディスクの最終曲を消去します。この操作はファイナライズ済み CD-RW ディスクではできません。

● マルチトラック消去(34 ページ)

ディスクの指定した曲から最終曲までをまとめて消去します。この操作はファイナライズ済み CD-RW ディスクではできません。

● 全曲消去(34 ページ)

ディスクのすべての曲を消去します。

● TOC 消去(35 ページ)

ファイナライズした CD-RW ディスクを、ファイナライズ前の状態に戻します。

● ディスク消去(35 ページ)

この操作はディスク上のすべての情報を消去します。主にディスクの修復用に利用するものです。

注意

◆ 消去作業を強制終了するには、**停止ボタン（■）**を10秒間押し続けてください。**このディスクを次に使用する時は、必ずディスク消去を行なってください。（強制終了したディスクは、正常に消去されていません。）**

◆ 消去中、"**CHECK DISC**" のメッセージが現れて消去が停止した場合、ディスクを取り出してキズや汚れ、ホコリがないことを確認し、再度消去を行なってください。

◆ 消去作業の後、電源を切る前には必ずディスクを取り出してください。
本体にディスクを残したまま電源を切ってしまうと、完全に消去されないことがあります。

最後の曲を消去する(最終曲消去)

1. 消去したいCD-RWディスクを入れる

2. 消去ボタン(ERASE)を押す

● 消去を解除したいときは、もう一度**消去ボタン(ERASE)**を押します。

3. ジョグダイアルを回して "ERASE LAST?" を選ぶ

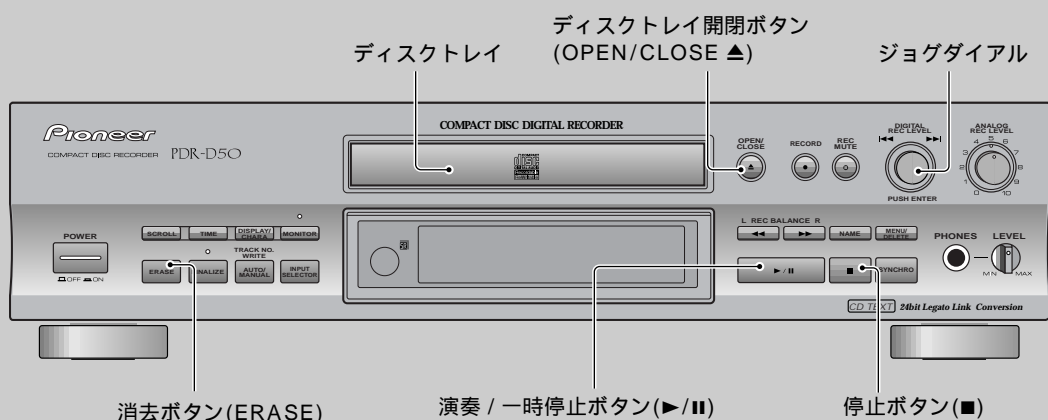
ERASE LAST? CD-RW

● 消去しないときは停止ボタン(■)を押してください。

4. 演奏 / 一時停止ボタン（►/❚❚）を押す

● 消去が始まります。
● 消去が終了すると自動的に停止します。

5. ディスクトレイ開閉ボタン（▲）を押す

● この操作をしないと録音が正しく行われないことがあります。

CD-RW ディスクを消去する

指定した曲から最後の曲までを消去する(マルチトラック消去)

1. 消去したいCD-RWディスクを入れる

2. 消去ボタン(ERASE)を押す

- 消去を解除したいときは、もう一度**消去ボタン(ERASE)**を押します。

3. ジョグダイアルを回して消去したい曲の範囲を選ぶ

例えば、全 10 曲録音してある CD-RW の 2 曲目から最後の曲までを消去したいときは下記の表示を選びます。

ERASE 02-10? CD-RW

- 消去しないときは停止ボタン(■)を押してください。

4. 演奏 / 一時停止ボタン（►/II）を押す

- 消去が始まります。
- 消去が終了すると自動的に停止します。

5. ディスクトレイ開閉ボタン(▲)を押す

- この操作をしないと録音が正しく行われないことがあります。

CD-RWに録音されているすべての曲を消去する(全曲消去)

ファイナライズしていない CD-RW は数秒で終了しますが、ファイナライズ済みの CD-RW は約 1 分かかります。

1. 消去したいCD-RWディスクを入れる

2. 消去ボタン(ERASE)を押す

- 消去を解除したいときは、もう一度**消去ボタン(ERASE)**を押します。

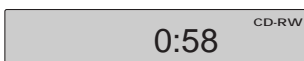
3. ジョグダイアルを回して "ERASE ALL?" を選ぶ

ERASE ALL? CD-RW

- 消去しないときは停止ボタン(■)を押してください。

4. 演奏 / 一時停止ボタン（►/II）を押す

- 消去が始まります。
- ファイナライズしてある CD-RW のときは表示部に消去が終了するまでの残り時間が表示されます。

0:58 CD-RW

- 消去が終了すると自動的に停止します。

5. ディスクトレイ開閉ボタン(▲)を押す

- この操作をしないと録音が正しく行われないことがあります。

CD-RWディスクを消去する

ファイナライズする前の状態に戻す(TOC消去)

1. ファイナライズしてある CD-RW ディスクを入れる

2. 消去ボタン(ERASE)を押す

- 消去を解除したいときは、もう一度**消去ボタン(ERASE)**を押します。

3. ジョグダイアルを回して "ERASE TOC?" を選ぶ

ERASE TOC? CD-RW

- 消去しないときは停止ボタン(■)を押してください。

4. 演奏 / 一時停止ボタン (►/ıı) を押す

- 消去が始まります。
- 表示部に消去が終了するまでの残り時間が表示されます。
- 消去が終了すると自動的に停止します。

5. ディスクトレイ開閉ボタン(≜)を押す

- この操作をしないと録音が正しく行われないことがあります。

注意

◆ TOC消去をするとディスクにつけた名前はディスクからは消去されますが、本体に再度記憶されます。このときすでに、本体でディスク3枚分の名前を記憶している場合は、入力が古いディスクの名前から消去されます。

CD-RWに記録されているすべての情報を消去する(ディスク消去)

ディスク消去は、CD-RWに録音できる時間の約半分で終了します。

1. 消去したいCD-RWディスクを入れる

2. 消去ボタン(ERASE)を 4 秒間押し続ける

INITIALIZE? CD-RW

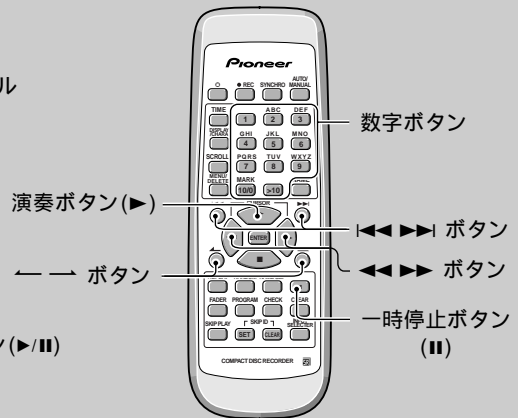
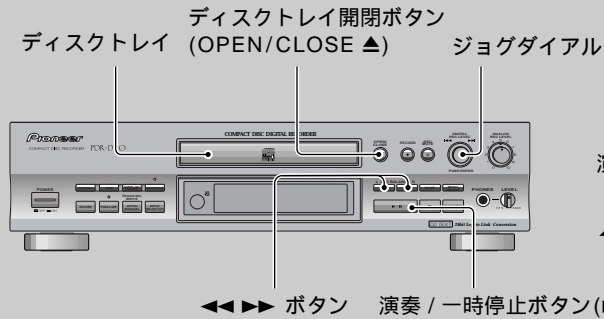
- 消去を解除したいときは**停止ボタン(■)**を押します。

3. 演奏 / 一時停止ボタン (►/ıı) を押す

- 消去が始まります。
- 表示部に消去が終了するまでの残り時間が表示されます。

ERASE 39:29 CD-RW

- 消去が終了すると自動的に停止します。

CD を聞く

好きな CD を演奏する

1. ディスクトレイに C D を入れる (P.14)

(P.14)

2. 演奏 / 一時停止ボタン(▶/II)を押す

● 演奏が開始されます。

演奏を停止する

停止ボタン(■)を押す

演奏を一時停止する

演奏 / 一時停止ボタン(▶/II)を押す

● もう一度押すと、演奏を再開します。

演奏している曲を早戻し・早送りをする

演奏を聞きながら、曲の早戻し・早送りをすることができます。曲の中の聞きたいところを探すのに便利な機能です。

早戻しは演奏中に◀◀ボタンを押し続ける。

早送りは演奏中に▶▶ボタンを押し続ける。

インデックスポイントの頭出しをする

CDに記録されたインデックスポイントへ移ることができます。インデックスポイントのないCDでは使えません。

⟶ ボタンを押す

● 送り方向へのインデックスポイントを頭出しします。

⟵ ボタンを押す

● 戻り方向へのインデックスポイントを頭出しします。

曲の頭出しをする

演奏している曲の初めに戻るとき

⏮ ボタンを演奏中に 1 回押します。

演奏している曲の前の曲に戻るとき

⏮ ボタンを演奏中に 2 回押します。

演奏している曲の次の曲に移るとき

⏭ ボタンを演奏中に 1 回押します。

メモ

● 曲の頭出しは、本体のジョグダイアルでもできます。左へ回すと前の曲へ、右に回すと次の曲へ移ります。

聞きたい曲から演奏する(ダイレクト演奏)

聞きたい曲の曲番号をリモコンの数字ボタンで選びます

選んだ曲の演奏を始めます。

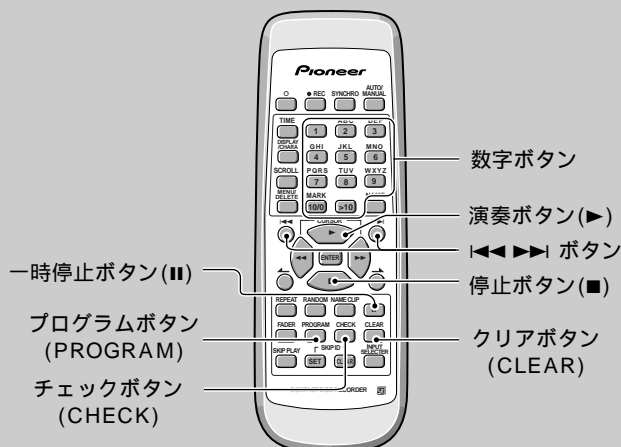
1 ～ 9　：番号のボタンを押します。

10　：**10/0** を押します。

11 以上　：**>10** を押してから番号を選びます。
（例）25 曲目 **>10、2、5**

メモ

● 本体のジョグダイアルでも選ぶことができます。選んだ後に、**演奏ボタン(▶)**を押すと演奏を始めます。

いろいろな演奏のしかた

好きな曲を選んで演奏する(プログラム演奏)

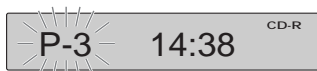
最大 24 曲までプログラムして演奏することができます。操作はリモコンで行います。

例）演奏順をディスク 3 曲目、10 曲目、20 曲目の曲順にする場合

1. 停止中にプログラムボタン(PROGRAM)を押す。

2. 好きな順番に曲番を指定する

- 例の場合は数字ボタンで **3**、**10/0**、**＞10**、**2**、**10/0** を順番に押します。
- プログラムステップ数と曲番号を表示後、プログラム総演奏時間を表示します。

P-3 14:38 CD-R

3. 演奏ボタン(►)を押す

- 演奏が始まります。
- プログラムした曲の演奏がすべて終わると自動的に停止します。

プログラムを取り消すには

- 再生中に停止ボタン(■)を 2 回押す。
- 停止中に停止ボタン(■)を 1 回押す。
- プログラム入力中に停止ボタン(■)を 2 回押す。
- ディスクトレイ開閉ボタン(OPEN/CLOSE▲)を押してディスクを取り出す。

メモ

- プログラム演奏後､新たに曲を追加プログラムするときは､もう一度プログラムボタンを押してください。

曲番をまちがえたときは

停止中にクリアボタン(CLEAR)を押す

- 押すたびに最後にプログラムした曲から順に消えていきます。

プログラムの内容を確認するには

停止中にチェックボタン(CHECK)を押す。

- 押すたびに、各ステップの曲番号を表示します。

プログラムの内容を変更するには

1. 停止中にチェックボタン(CHECK)を押して、変更するステップまで戻ります。

2. 変更する曲番号を数字ボタンで選びます。

3. 手順 1 と 2 を繰り返して、複数の曲の変更を行います。

- プログラム内容の変更を終了するには、停止ボタン(■)を押します。

いろいろな演奏のしかた

順不同に演奏する(ランダム演奏)

曲を無作為に選んで 1 回ずつ演奏します。**リモコンで操作します。**

演奏中にランダムボタン(RANDOM)を押す

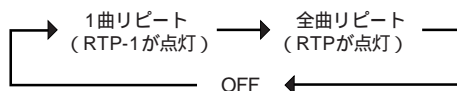
- "**RDM**" インジケーターが点灯します。
- ランダム演奏を始めます。

ランダム演奏を解除する

停止ボタン(■)を押す

- 演奏が停止して、ランダム演奏は解除されます。

繰り返し演奏する(リピート演奏)

演奏している 1 曲だけを繰り返す 1 曲リピートとディスクの全曲を繰り返す全曲リピートがあります。**リモコンで操作します。リピートボタン(REPEAT)を**押すごとに、下記のように切り換わります。

演奏中にリピートボタン(REPEAT)を押す

- リピート演奏を始めます。

メモ

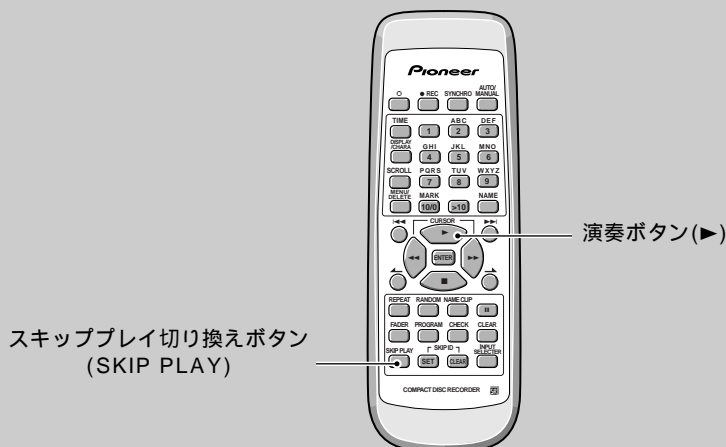
- ***プログラムリピート演奏***
  プログラム演奏中に**リピートボタン(REPEAT)**を押すと、プログラム演奏を繰り返し演奏します。
- ***ランダムリピート演奏***
  ランダム演奏中に**リピートボタン(REPEAT)**を押すと、ランダム演奏を繰り返し演奏します。

曲の初めと終わりの音量を調整して演奏する(フェード演奏)

フェーダーボタン(FADER)を押す

- 一時停止状態でフェーダーボタン(FADER)を押すと、フェードインしながら演奏を開始します。
- 演奏中にフェーダーボタン(FADER)を押すと、フェードアウトして一時停止状態になります。
- "**FADER**" インジケーターが点滅します。

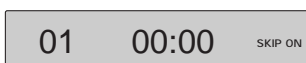
メモ

- フェードイン、アウトの時間は1秒～12秒の間で自由に設定することができます。設定のしかたは**P.40** をご覧ください。

聞きたくない曲を飛ばす(SKIP PLAY)

聴きたくない曲をスキップ情報の設定によって、演奏中スキップさせることができます。

1. スキップ情報を記録したディスクを入れる(P.31)

- スキップ情報を持つディスクは、"**SKIP ON**"インジケーターが自動的に点灯します。

01 00:00 SKIP ON

- スキップ情報を持たないディスクは、"**SKIP ON**"インジケーターが点灯しません。

2. 演奏ボタン(►)を押す

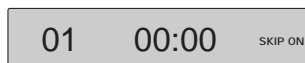
- 演奏が始まります。
- スキップ情報を指定した曲は飛び越して演奏します。

スキップ演奏したくない場合

スキップ情報が指定されている曲を飛び越さずに演奏することができます。

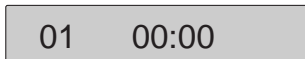
1. スキップ情報を記録したディスクを入れる(P.31)

- スキップ情報を持つディスクは、"**SKIP ON**"インジケーターが自動的に点灯します。

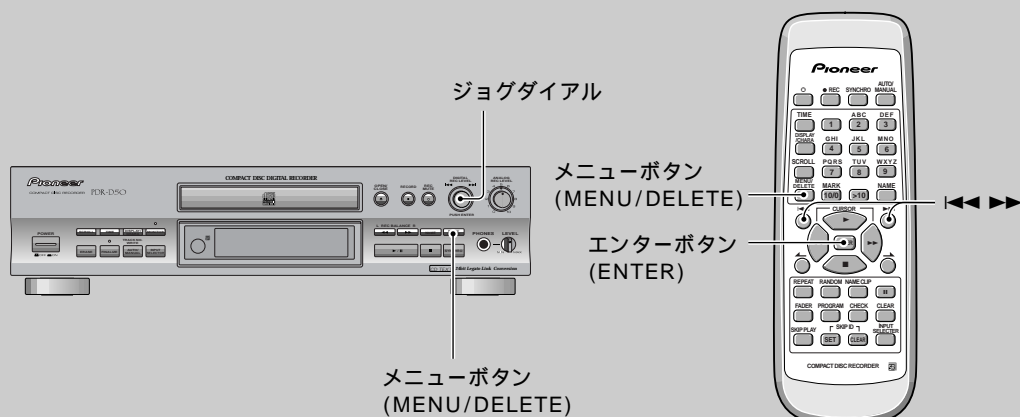
01 00:00 SKIP ON

- スキップ情報を持たないディスクは、"**SKIP ON**"インジケーターが点灯しません。

2. スキッププレイ切り換えボタン(SKIP PLAY)を押す

- "**SKIP ON**"インジケーターが消えます。

01 00:00

3. 演奏ボタン(►)を押す

- ディスクにスキップ情報が指定されていないと、SKIP PLAY ボタンは受けつけません。

フェードイン、フェードアウトの時間を設定する

フェードイン / アウトの時間を設定する

録音時、再生時のフェードイン / アウト時間を設定します。設定できる時間は 1 秒〜 12 秒の間で設定できます。初期設定は 5 秒です。

1. メニューボタン(MENU/DELETE)を押す

2. ジョグダイアルを回して、"FADER 5sec" を選ぶ

- リモコンの⏮ ⏭ボタンでも選択できます。

FADER 5sec CD-R

3. ジョグダイアルまたはエンターボタン(ENTER)を押す

FADER 5sec? CD-R

4. ジョグダイアルを回して、フェードイン / アウトの時間を選ぶ

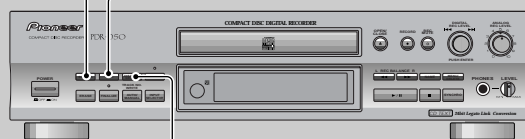
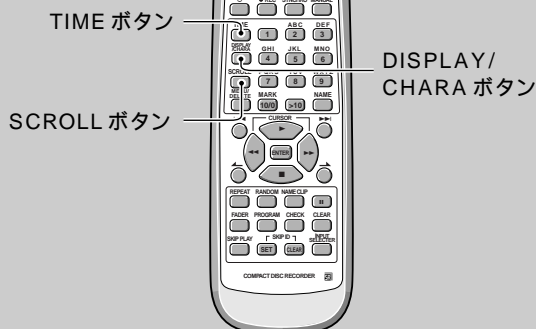
FADER 7sec? CD-R

5. ジョグダイアルまたはエンターボタン(ENTER)を押す

- フェードイン / アウト時間が設定されます。

メモ

- 電源を OFF にした後も、設定した時間は本体に記憶されます。

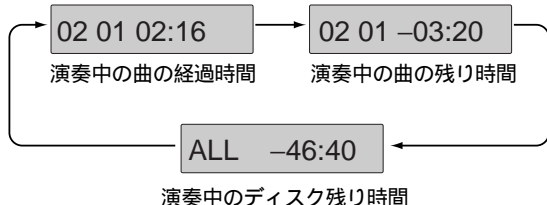
表示を切り換える

ディスクの時間表示を切り換える

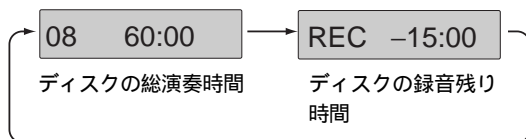
リモコンまたは本体のTIMEボタンを押すことによって、表示部の時間情報の内容を切り換えることができます。

演奏中

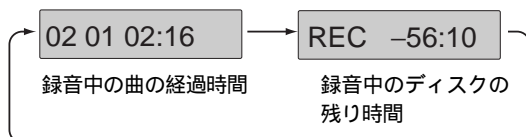
TIME ボタンを押す

押すたびに以下のように表示部が切り換わります。

停止中

TIME ボタンを押す

押すたびに以下のように表示部が切り換わります。

録音中または録音一時停止中

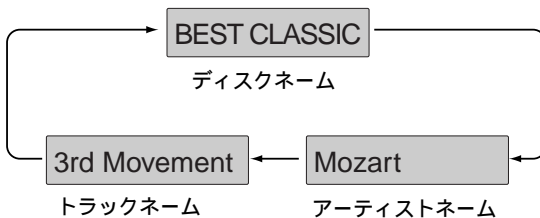
TIME ボタンを押す

押すたびに以下のように表示部が切り換わります。

CD テキストの表示を切り換える

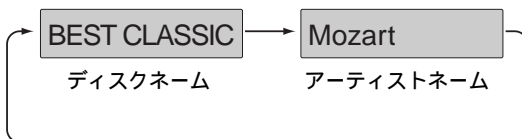
リモコンまたは本体のDISPLAY/CHARAボタンを押すことによって、表示部のCDテキスト情報の内容を切り換えることができます。
表示するのは最初の12文字までです。表示をスクロールさせるときはリモコンまたは本体のSCROLLボタンを押してください。

演奏中

DISPLAY/CHARA ボタンを押す

押すたびに以下のように表示部が切り換わります。

停止中

DISPLAY/CHARA ボタンを押す

押すたびに以下のように表示部が切り換わります。

メモ

- 80分ディスクの場合、録音可能時間は79：57と表示されます。

こんな表示が出たときは

メッセージ	解 説	参照ページ
TOC READ	ディスク情報を読み込んでいます。しばらくお待ちください。	**P.14**
SYNC-1	１曲シンクロ録音の録音一時停止状態です。外部接続している機器が演奏を開始すると録音を始めます。	**P.15-16**
SYNC-ALL	全曲シンクロ録音の録音一時停止状態です。外部接続している機器が演奏を開始すると録音を始めます。	**P.15-16**
SYNC-FINAL	自動ファイナライズシンクロ録音の録音一時停止状態です。外部接続している機器が演奏を開始すると録音を始めます。	**P.15,17**
CD (MD, DAT, DVD,DCC)	入力切換ボタン(INPUT)で選択した入力ソースを表示します。	
PMA REC	TOC情報をディスクのPMA(プログラム・メモリー・エリア)に記録中です。この表示が出ているときは、絶対に電源を切らないでください。	**P.15**
– – SKIP SET	スキップ情報を指定する曲を選択しています。 スキップ情報を指定するときは**スキップIDセットボタン(SKIP ID SET)**を押してください。	**P.31**
– – SKIP CLR	スキップ情報を解除する曲を選択しています。 スキップ情報を解除するときは**スキップIDクリアボタン(SKIP ID CLEAR)**を押してください。	**P.32**
SKIP FULL	スキップ情報の指定、解除の回数が制限回数よりも多いため、これ以上スキップ情報を指定、解除することはできません。	**P.31**
ERASE LAST	最終曲を消去します。 消去するときは**演奏/一時停止ボタン**(▶/II)を押してください。	**P.33**
ERASE ALL	全曲を消去します。 消去するときは**演奏/一時停止ボタン**(▶/II)を押してください。	**P.34**
ERASE TOC	CD-RWディスクをファイナライズする前の状態に戻します。 TOCを消去するときは**演奏/一時停止ボタン**(▶/II)を押してください。	**P.35**
INITIALIZE	ディスク上のすべての情報を消去します。 消去する場合は**演奏/一時停止ボタン**(▶/II)を押してください。	**P.35**
NEW DISC	新しい(未録音)CD-R/CD-RW です。録音はできますが、演奏はできません。	**P.14**
NO DISC	ディスクが入っていません。	

故障？ちょっと調べてください

故障かな？……と思う前にまずチェックしてみてください。不完全な整備やディスク不良、操作の不慣れなどにより故障したように思われることがあります。簡単なミスや勘違いを訂正したり、ちょっとしたお手入れによってトラブルが解決する場合は多いのです。以下の項をチェックしても症状が直らない場合は、お近くのパイオニア・サービスステーションにご連絡ください。

録音動作時関連のインフォメーション

表　示	原　因	対　応
Can't COPY	コピー・ガード信号(SCMS)を含むデジタル信号が入力されている。	アナログ信号入力で録音する、または複製可能な音楽信号を録音する。
DIN UNLOCK	外部接続している機器が正しく動作していない。 デジタル接続が正しくされていない。 CD-ROMなどのデータが入力されている。	外部接続している機器の正しく動作しているか確認する 正しくデジタル接続がされているか確認する。 ソースが通常の音楽信号かどうか確認する。
Can't SYNC	外部接続している機器が正しく動作していない。 デジタル接続が正しくされていない。	デジタル入力を選択するか、外部接続している機器をCD、MD、DAT、DCCのいずれかにする。 正しくデジタル接続がされているか確認する。
CHECK INPUT?	シンクロ録音をするとき、すでに外部接続している機器の演奏が始まっている。	外部接続している機器の演奏を停止します。 "SYNC-1"、または"SYNC-ALL" を表示し、録音一時停止状態になります。
−− SET UP	録音待機中です。	表示が消えるまでお待ちください。
REPAIR	録音終了後、ディスクを入れたまま電源をオフにして、そのまま放置したため、曲番号、および録音時間情報が消えてしまった。	"REPAIR"表示中、録音したエリアをトレースすることで、曲番号、および録音時間情報を修復します。表示が元の状態に戻ったら、録音やファイナライズが可能です。録音したエリアをトレースするには、最大に録音をしていた場合で約40分かかります。
REC FULL	ディスクの録音時間一杯に録音されている、またはすでに99曲録音されている。	新しいディスクに入れ換えてください。
Pro DISC	「FOR CONSUMER」表示のない業務用CD-R/CD-RWが入っている。	ディスクを取り出して確認してください。 「FOR CONSUMER」、「FOR CONSUMER USE」または「FOR MUSIC USE ONLY」表示のあるCD-R/CD-RWを入れてください。

自己診断機能について

本機は自己診断機能を持っていますので、動作中に不具合を検出すると表示部に下記のようなメッセージを表示します。

表　示	原　因	対　応
CHECK DISC	ゴミ、汚れ、キズまたは振動によって停止したと思われます。 ディスクが表裏逆に入れられていると思われます。	ディスクにゴミ、ホコリ、キズがないかディスクを取り出して確認してください。 ディスクを取り出して確認してください。 正しくディスクを入れても、繰り返し表示する場合は、電源コードを入れなおしてください。それでも繰り返し表示する場合は、弊社サービスステーションにお知らせください。
CHECK 点滅	ノイズや静電気などでシステムに異常が発生したと思われます。	電源コードを入れなおしてください。 それでも繰り返し表示する場合は、弊社サービスステーションにお知らせください。

故障？ちょっと調べてください

故障かな？と思ったら、ちょっとチェックしてみてください。下の項目をチェックしても直らないときは、お近くのパイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。

症　状	原　因	対　応
電源が入らない。	電源コードがコンセントから抜けている。 電源コードを接続した機器（AVアンプなど）の電源が入ってない。	電源コードをコンセントに正しく差し込んでください。 電源コードを接続した機器の電源を入れてください。
外部機器からの録音ができない	接続が正しくされていない。 ファイナライズ済みのCD-R/CD-RWを使用している。 入力切換が正しく選択されていない。	接続のしかた(**P.9-11**)をご覧になって正しく接続してください。 ファイナライズしていないCD-R/CD-RWを使用してください。 接続している端子にあわせて入力を切り換えてください。
録音すると音が歪む	録音レベル調整つまみが絞られている。 接続が正しくされていない。 テレビからの影響を受けている。 ディスクが破損しているか割れている。 録音レベルが高すぎる。 ディスクが極端に汚れている。	録音レベルを適度な大きさに上げてください。 接続のしかた(**P.9-11**)に従って正しく接続をしてください。 テレビの電源を切るか、またはテレビから本機を離してください。 他のディスクを使ってください。 録音レベルを下げてください(**P.19,20**)。 ディスクの汚れを拭き取ってください(**P.13**)。
リモコン操作ができない。	リモコンの電池が消耗している。 リモコンと本機の間に障害物がある。 リモコン操作範囲の外で操作している。	リモコンの電池をすべて新しいものと交換してください(**P.8**)。 障害物を取り除いてください。 リモコンの操作範囲内で操作してください(**P.8**)。
録音したCD-Rが他のCDプレーヤーで演奏できない。	ファイナライズ処理をしていない。 ピックアップレンズの汚れ等により、演奏するCDプレーヤーの再生能力が低下している。	ファイナライズ処理を行なってください(**P.13, 30**)。 別のCDプレーヤーで演奏できるか確認してください。演奏できる場合には、CDプレーヤー側の点検を行ってください。
録音したCD-RWが他のCDプレーヤーで演奏できない。	ファイナライズ処理をしていない。 CDプレーヤーがCD-RW に対応していない	ファイナライズ処理を行なってください(**P.13, 30**)。 CDプレーヤーの取扱説明書をご覧になり、CD-RWに対応しているか確認してください。対応していなければ演奏することはできません。

故障？ちょっと調べてください

症　状	原　因	対　応
音が出ない。	電源コードがはずれている。	電源コードを正しく接続してください(**P.11**)。
	すべてのコードが正しく接続されていない。	接続のしかたをご覧になって正しく接続をしてください(**P.9-11**)。
演奏/一時停止ボタン(▶/❚❚)を押しても演奏が始まらない。あるいはディスクが出てきてしまう	ディスクの裏表を逆に入れている。	ディスクのレーベル面(印刷のある面)を上にし、正しく入れてください(**P.14**)。
	ディスクに汚れやくもりなどがある。	ディスクをクリーニングしてください(**P.13**)。
	ディスクに大きなキズやソリなどがある。	ディスクを交換してください。
ディスクトレイを閉めても自動的に開いてしまう	ディスクが正しく入っていない。	ディスクを正しく入れてください(**P.14**)。
	2枚以上のディスクを重ねて入れている。	ディスクを取り出して、もう一度演奏したいディスクを1枚だけディスクトレイに入れてください。

- テレビを近くに設置すると、映像の乱れが生じることがあります。テレビで室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは屋外アンテナを使用するかテレビを離して設置してください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

シンクロ録音が正しく動作しないとき

下記の方法でもう一度確認してください。

1. 外部接続している機器の演奏を録音したい位置で一時停止させる

2. もう一度シンクロ録音の設定をする(P.15-17)

音飛びを防ぐ機能がついている機器(ポータブル CD プレーヤーなど)から録音するときは、その機能のスイッチを "切" にしてください。

3. 本機の "SYNCHRO" インジケーターが点滅したら、外部接続している機器の演奏を始める

上記の方法でもシンクロ録音が正しく動作しないときは、「*マニュアル録音する* (**P.18**)」、をご覧になり、手動で録音してください。
デジタルシンクロ録音は、外部接続している機器のデジタル出力の中に含まれるサブコード信号を利用してシンクロ録音します。一部の CD プレーヤーや MD レコーダーなどでは、デジタル入力のシンクロ録音が正しく動作しないことがあります。

注意

◆ **デジタル信号が遮断されたとき**
DAT 、DCC、または衛星放送などからのデジタル信号のサンプリング周波数が切り換わったときは、一瞬無音が記録されますが録音は継続されます。
衛星放送の信号が途切れた、デジタル信号が途切れた、または演奏している機器の電源が切れたときでも、約5秒以内にデジタル信号が再度入力されれば、録音は継続されます。ただし、遮断されていた部分は無音となります。5秒以上デジタル信号が入力されないときは録音が一時停止して、表示部に "**DIN UNLOCK**" と表示されます。

◆ **DAT、DCC からデジタル録音するとき**
一般に、DAT 、DCC のオート ID 機能を使用して作成したテープは、スタート ID が音よりわずかに遅れて記録されています。本機では、DAT 、または DCC からデジタル録音するときに、このスタート ID によって曲の切り換わりを検知しているため、マニュアルデジタル録音で曲番号の自動更新を使用したときに、下記のような不具合を生じることがあります。
・ 録音開始時、曲の頭が欠ける。
・ 録音中、曲の頭よりわずかに遅れて曲番号が更新される。
・ 録音終了時、次の曲の頭が録音される。
これを防ぐためにDAT 、DCCテープのスタートIDは、マニュアル操作で再入力することをおすすめします。また、不要なスタート ID は削除しておいてください。
DAT 、DCC の操作方法については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

日ごろのお手入れ

CD レンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときはアフターサービスの項をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されているCD レンズクリーニングディスクには、レンズを破損する恐れのあるものあるいはディスクが取り出せなくなるものがありますのでご注意ください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で５～６倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。
アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。

また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。
このような場合には１時間ほど放置するか徐々に室温を上げてから使用してください。

保証とアフターサービス

■保証書(別添)について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

●保証期間はご購入日から１年間です。

■補修用性能部品の最低保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理に関するご質問、ご相談は

お買上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■修理を依頼されるとき

４３～４５ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

・ご住所
・ご名前
・電話番号
・製品名：コンパクトディスクレコーダー
・型番：PDR-D50
・お買い上げ日
・故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
・訪問のご希望日
・ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

■保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

仕様

1．　一般

形式　..... コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
使用ディスク .... CD、CD-R、CD-RW
電源　... AC 100 V、50/60 Hz
消費電力 .... 11 W
動作温度 .... ＋5 ℃ ～＋35 ℃
質量　.. 3.7 kg
最大外形寸法 .... 420(幅) ×295(奥行き)×105(高さ) mm

2．　オーディオ部

周波数特性 .... 2 Hz～ 20 kHz
再生S/N .... 112 dB(EIAJ)
再生ダイナミックレンジ ....　98 dB(EIAJ)
再生歪率 .... 0.0017 %(EIAJ)
再生チャンネルセパレーション .... 98 dB
録音S/N .... 92 dB
録音ダイナミックレンジ .... 92 dB
録音歪率 .... 0.004 %
出力電圧 .... 2 V
ワウ・フラッター測定限界
.... (±0.001 %W.PEAK)以下(EIAJ)
チャンネル数 .... 2チャンネル(ステレオ)
デジタル出力
同軸出力 .... 0.5 Vp-p ±20 %(75 Ω)
光出力 .... －15 dBm ～－21 dBm(波長660nm)
周波数偏差 .... レベル2(標準モード)

＊録音の仕様値はライン入力時（アナログ）

3．　入力端子

光デジタル入力端子　x1
同軸デジタル入力端子 x1
ライン入力端子　x1
SRコントロール端子　x1

4．　出力端子

光デジタル出力端子　x1
同軸デジタル出力端子 x1
ライン出力端子　x1
SRコントロール端子　x1

5．　付属品

- リモートコントロールユニット 1
- 単3形乾電池(AA/R6P) 2
- オーディオコード 2
- 電源コード 1
- 光デジタルケーブル 1
- 保証書 1
- ご相談窓口・修理窓口のご案内 1
- 取扱説明書(本書) 1
- 安全上のご注意 1
- CD-R操作入門編 1

上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

取り扱い上の注意

■録音／再生中は本機を絶対動かさない

録音／再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つけたり録音できなくなる恐れがあります。

■設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムのそばの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

■次のような場所には設置しないでください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ほこりの多い所
- 油煙、蒸気、熱などがあたる所（台所など）

■熱を受けないように

アンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱をさけるため、アンプよりできるだけ下の棚（ホコリをかぶらない程度）に入れてください。

■重いものをのせない

本機の上に重いもの（テレビやアンプなど）をのせないでください。

■密閉したラックなどに収納すると、温度が上昇し、ディスクを傷めることがあります。

あなたが録音したものは､個人として楽むなどのほかは､著作権法上､権利者に無断で使用できません。
なお､デジタル録音機器の価格には､著作権法の定めにより､私的録音補償金が含まれています。
お問合わせ先：（社）私的録音補償金管理協会
電話03 - 5353 ‐ 0336

本機の接続、操作、技術相談に関するお問い合わせは(全国共通フリーコール)

テクニカルサポートセンター　**0088-22-8102**

（ただし、土、日、祝、弊社休日を除く 9:30～12:00、13:00～17:00）

＜ご注意＞ ● ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

● 家庭用ｵｰﾃﾞｨｵ／ﾋﾞｼﾞｭｱﾙ製品のお問い合わせ窓口　**0070-800-8181-22**

● カタログのご請求窓口　**0070-800-8181-33**

＜ご注意＞ ● ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。

● 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

※ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内

http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html

愛情点検

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか？
・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
・電源コードにさけめやひび割れがある。
・電気が入ったり切れたりする。
・本体から異常な音、熱、臭いがする。

すぐに使用を中止し､電源プラグをコンセントから抜き､故障や事故防止のため電気店または､お近くのサービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

ご 注 意 ：本機のご使用に際しては、著作権法に抵触しないよう、ご注意ください。

著作権について

- 放送やCD、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したディスクを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

社団法人　日本音楽著作権協会（JASRAC・音権協）

支部	TEL	
本　部	TEL　03(3481)2121	(大代表)
北海道支部	TEL　011(221)5088	(代表)
盛岡支部	TEL　019(652)3201	(代表)
仙台支部	TEL　022(264)2266	(代表)
長野支部	TEL　026(225)7111	(代表)
大宮支部	TEL　048(643)5461	(代表)
上野支部	TEL　03(3832)1033	(代表)
東京支部	TEL　03(3562)4455	(代表)
西東京支部	TEL　03(3232)8301	(代表)
東京ｲﾍﾞﾝﾄ・ｺﾝｻｰﾄ支部	TEL　03(5286)1671	(代表)
立川支部	TEL　0425(29)1500	(代表)
横浜支部	TEL　045(662)6551	(代表)
静岡支部	TEL　054(254)2621	(代表)
中部支部	TEL　052(583)7590	(代表)
北陸支部	TEL　076(221)3602	(代表)
京都支部	TEL　075(251)0134	(代表)
大阪支部	TEL　06(6244)0351	(代表)
大阪北支部	TEL　06(6244)7077	(代表)
神戸支部	TEL　078(322)0561	(代表)
中国支部	TEL　082(249)6362	(代表)
四国支部	TEL　0878(21)9191	(代表)
九州支部	TEL　092(441)2285	(代表)
鹿児島支部	TEL　099(224)6211	(代表)
那覇支部	TEL　098(863)1228	(代表)

（2000年5月現在）

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<00F00ZF0Q00>　<PRA1110-B>